

I. 調査 1) 在宅療養者の食環境に関する現状調査

第 1 章 調査の概要とアンケート集計結果

第 1 節 調査の概要

1. 調査の目的

在宅療養者の食事の状況や、介護者による食に関する介護の現状を明らかにし、在宅療養者や介護者の実態に即した「食に関する介護のサポート」を検討するため、介護者を対象に、アンケート調査を実施しました。

2. 調査方法

村山地域の居宅介護支援事業所より下記の調査条件に合う対象者を抽出していただき、介護支援専門員より自宅訪問にて介護者へ調査の依頼・説明とアンケート調査票の配布を行っていただきました。

【依頼方法】

村山地域の居宅介護支援事業所（山形県ホームページ・指定居宅介護支援事業所名簿[平成 25 年 8 月 1 日現在]より）162 事業所へ依頼書とアンケート調査票を郵送し、その後電話による依頼と説明を行いました。

【調査対象世帯の抽出方法】

- ①下記の【調査票配布世帯の条件】に該当する要介護 1～5 の方で、介護保険によるサービスを利用している方を、各事業所で要介護度別にそれぞれ 2 世帯ずつ（計 10 世帯）
- ②各要介護度の中でも調査期間内で訪問時期が早い順

【調査票の回収方法】

回答いただいた介護者からの郵送としました。

3. 調査対象

【調査票配布世帯の条件】

- ①65 歳以上の要介護者で食事を経口摂取している方
- ②介護する家族がおり、家族がアンケートの回答ができる世帯
- ③要介護者が 1 人の世帯（2 人以上の要介護者がいる世帯は調査の対象といたしません）

4. 調査時期

平成 25 年 9 月 11 日(水)～平成 25 年 10 月 31 日(木)

5. 調査項目

- ①介護を受けている方(要介護者)について
- ②介護をしている方(介護者)について
- ③入院について

6. 調査対象者数、有効回答数及び有効回答率

調査対象数 1620 件（配布：居宅介護支援事業所 162 件）

有効回答数 457 件（有効回答率 28.2%）

第2節 アンケート集計結果

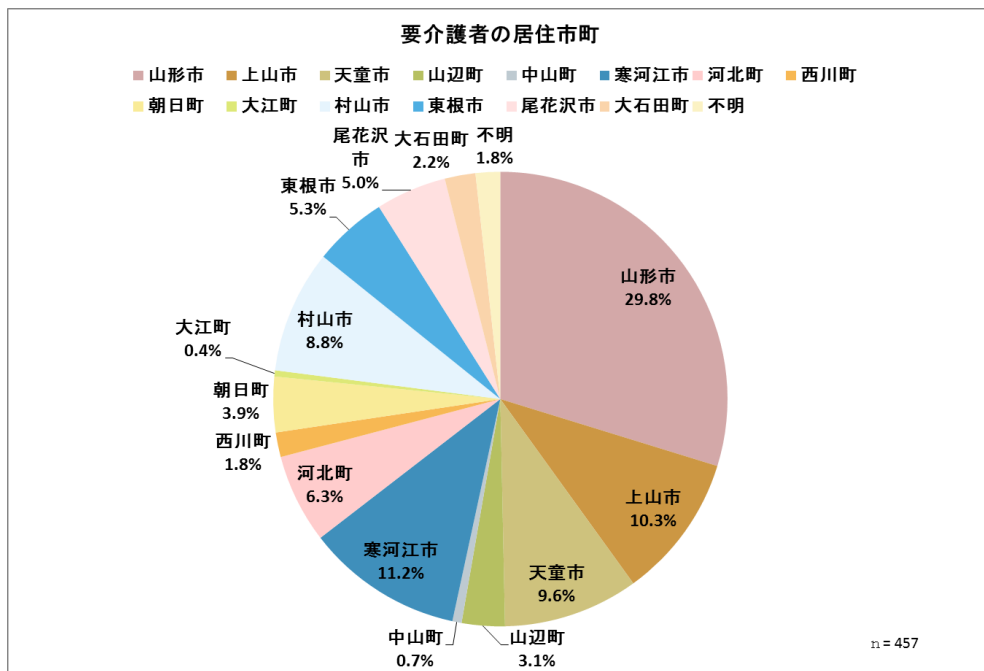
1. 在宅療養者について

(1) 基本属性

■要介護者の居住市町

図表 I-1-2-1：要介護者の居住市町

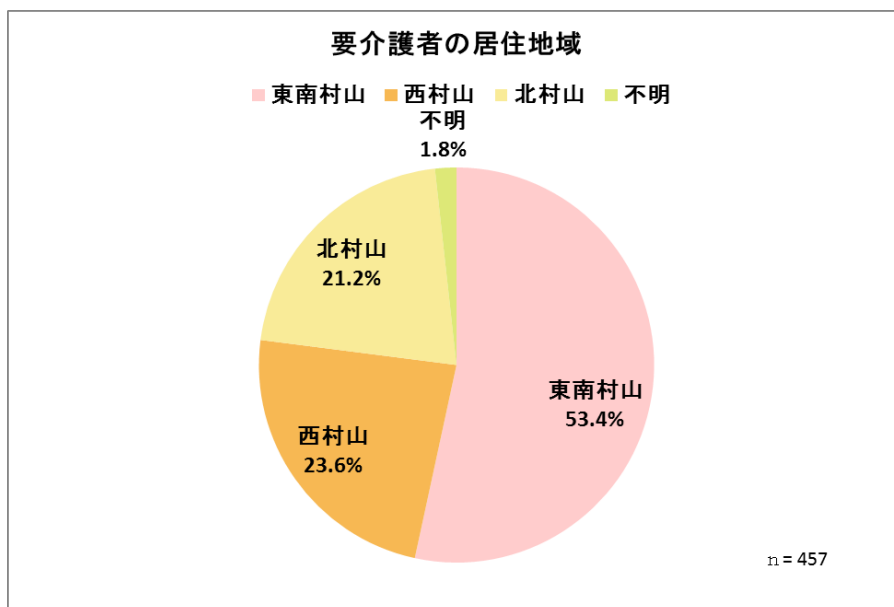
居住市町	人数	割合
山形市	136	29.8%
上山市	47	10.3%
天童市	44	9.6%
山辺町	14	3.1%
中山町	3	0.7%
寒河江市	51	11.2%
河北町	29	6.3%
西川町	8	1.8%
朝日町	18	3.9%
大江町	2	0.4%
村山市	40	8.8%
東根市	24	5.3%
尾花沢市	23	5.0%
大石田町	10	2.2%
不明	8	1.8%
回答人数	457	



■要介護者の居住地域

図表 I-1-2-2：要介護者の居住地域

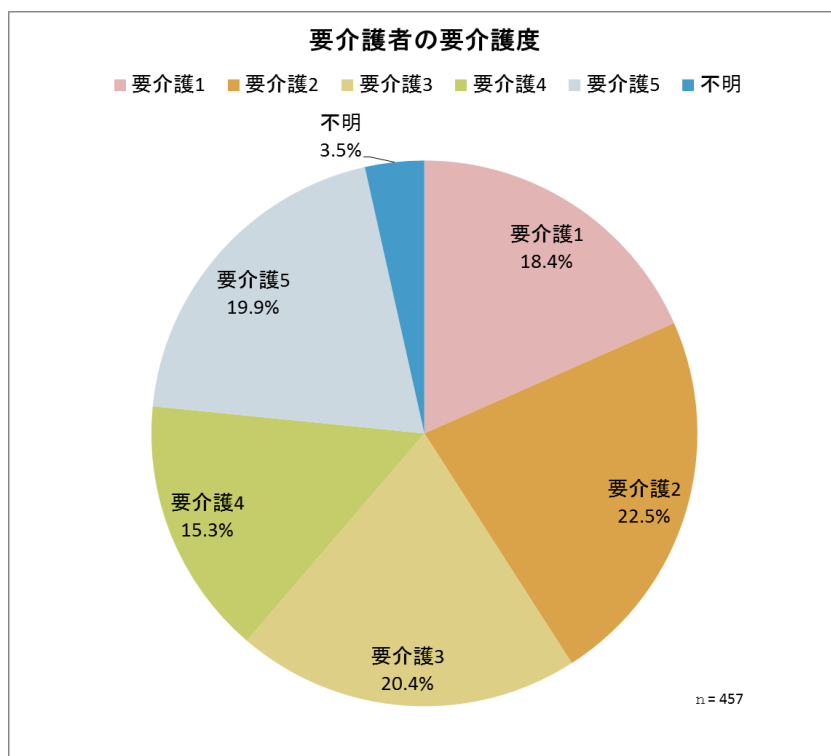
居住地域	人数	割合
東南村山	244	53.4%
西村山	108	23.6%
北村山	97	21.2%
不明	8	1.8%
回答人数	457	



■要介護者の要介護度

図表 I-1-2-3：要介護者の要介護度

要介護度	人数	割合
要介護1	84	18.4%
要介護2	103	22.5%
要介護3	93	20.4%
要介護4	70	15.3%
要介護5	91	19.9%
不明	16	3.5%
回答人数	457	

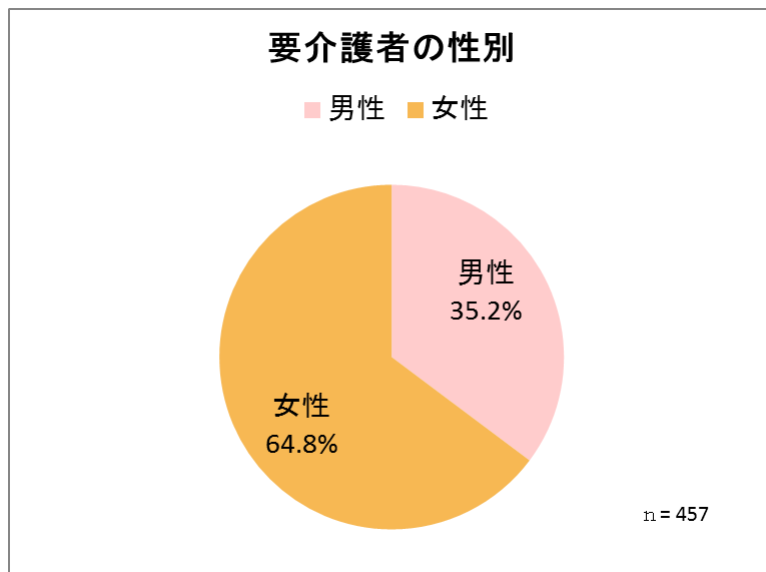


■問 1、介護を受けている方の性別をお答えください。

厚生労働省の調査²によれば、全国の要介護認定者の男女比は男性 30.9%、女性 69.1%であり、本調査の結果は大きな差異はないと言えます。

図表 I-1-2-4：要介護者の性別

要介護者の性別	人数	割合
男性	161	35.2%
女性	296	64.8%
回答人数	457	

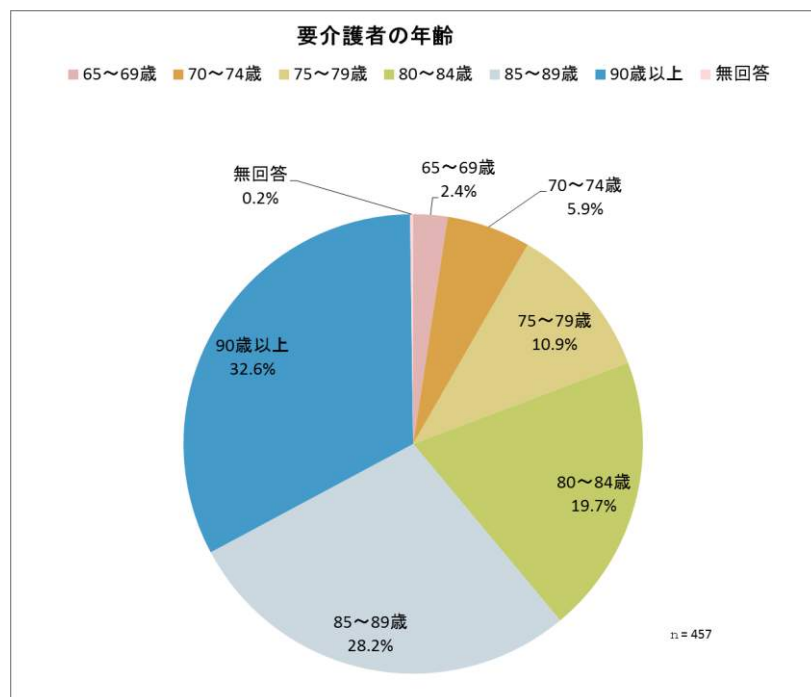


■問 2、介護を受けている方の年齢はおいくつですか。

90 歳以上が最も多く、次いで 85～89 歳、80～84 歳の順で、80 歳以上で全体の 80.5%を占めています。

図表 I-1-2-5：要介護者の年齢

要介護者の年齢	人数	割合
65～69歳	11	2.4%
70～74歳	27	5.9%
75～79歳	50	10.9%
80～84歳	90	19.7%
85～89歳	129	28.2%
90歳以上	149	32.6%
無回答	1	0.2%
回答人数	457	



² 性・年齢階級別にみた受給者の状況：厚生労働省ホームページ,平成 24 年度 介護給付費実態調査の概況 4 p, (平成 25 年 7 月 31 日)

(2) 健康状態と医療・介護保険サービス

■問3、介護を受けている方は、現在治療中または経過観察中の病気はありますか。

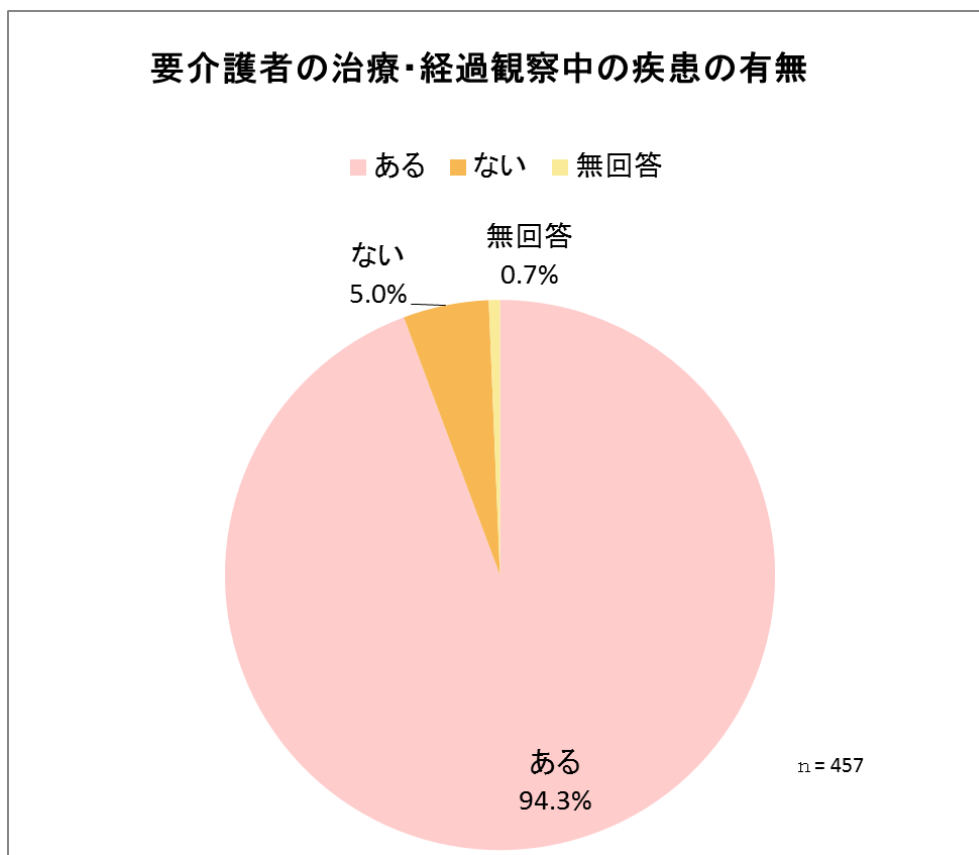
現在治療中または経過観察中の疾患が全くないという方は 5.0%のみで、94.3%の方が何らかの疾患の治療中もしくは経過観察中であるという結果でした。

要介護者が現在治療しているまたは経過観察中の疾患として、高血圧が最も多く回答世帯の 47.1%、次いで認知症が 39.9%、脳血管疾患が 26.0%という結果でした。

要介護者のうち、54.7%の方が複数の疾患の治療中または経過観察中であるという結果でした。

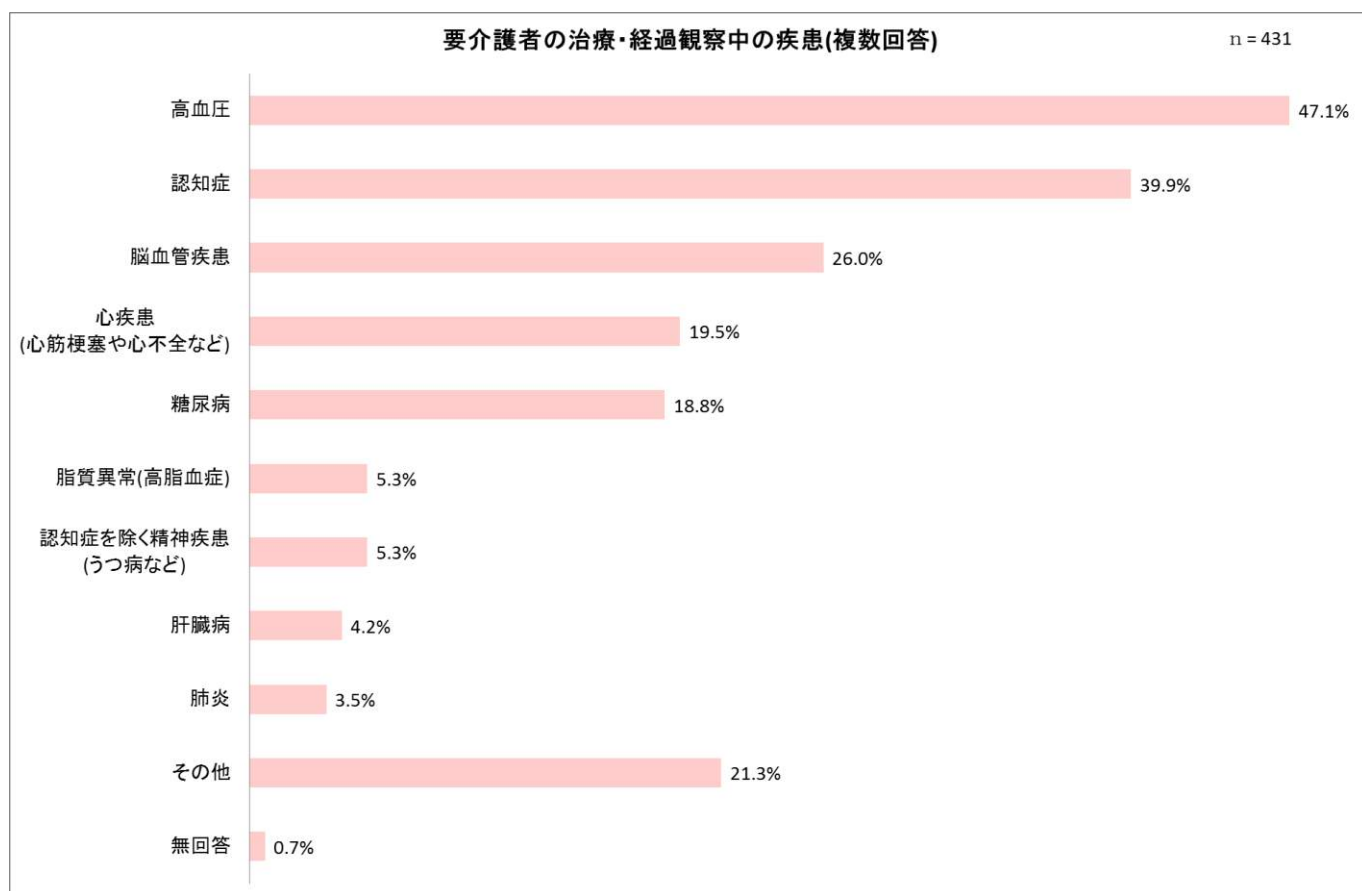
図表 I-1-2-6：要介護者の治療・経過観察中の疾患の有無

要介護者の 治療・経過観察中の疾患の有無	人数	割合
ある	431	94.3%
ない	23	5.0%
無回答	3	0.7%
回答人数	457	



図表 I-1-2-7：要介護者の治療・経過観察中の疾患(複数回答)

治療・経過観察中の疾患	人数	割合
高血圧	203	47.1%
認知症	172	39.9%
脳血管疾患	112	26.0%
心疾患 (心筋梗塞や心不全など)	84	19.5%
糖尿病	81	18.8%
脂質異常(高脂血症)	23	5.3%
認知症を除く精神疾患 (うつ病など)	23	5.3%
肝臓病	18	4.2%
肺炎	15	3.5%
その他	92	21.3%
無回答	3	0.7%
のべ人数	826	
回答人数	431	

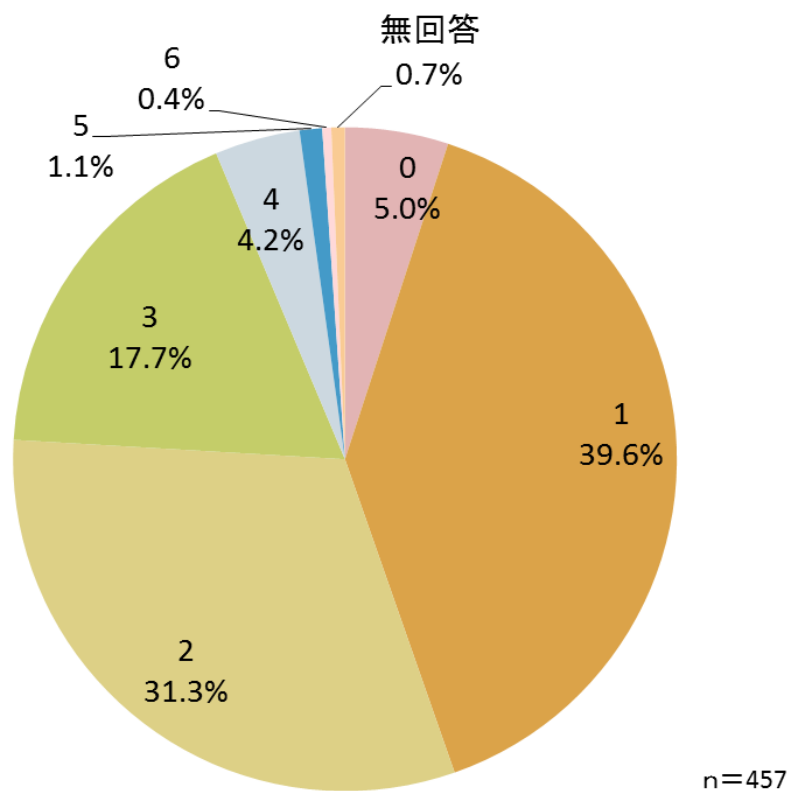


図表 I-1-2-8：要介護者一人あたりの治療・経過観察中の疾患数

要介護者一人あたりの 治療・経過観察中の疾患数	人数	割合
0	23	5.0%
1	181	39.6%
2	143	31.3%
3	81	17.7%
4	19	4.2%
5	5	1.1%
6	2	0.4%
無回答	3	0.7%
合計	457	

要介護者一人あたりの治療・経過観察中の疾患数

0 1 2 3 4 5 6 無回答

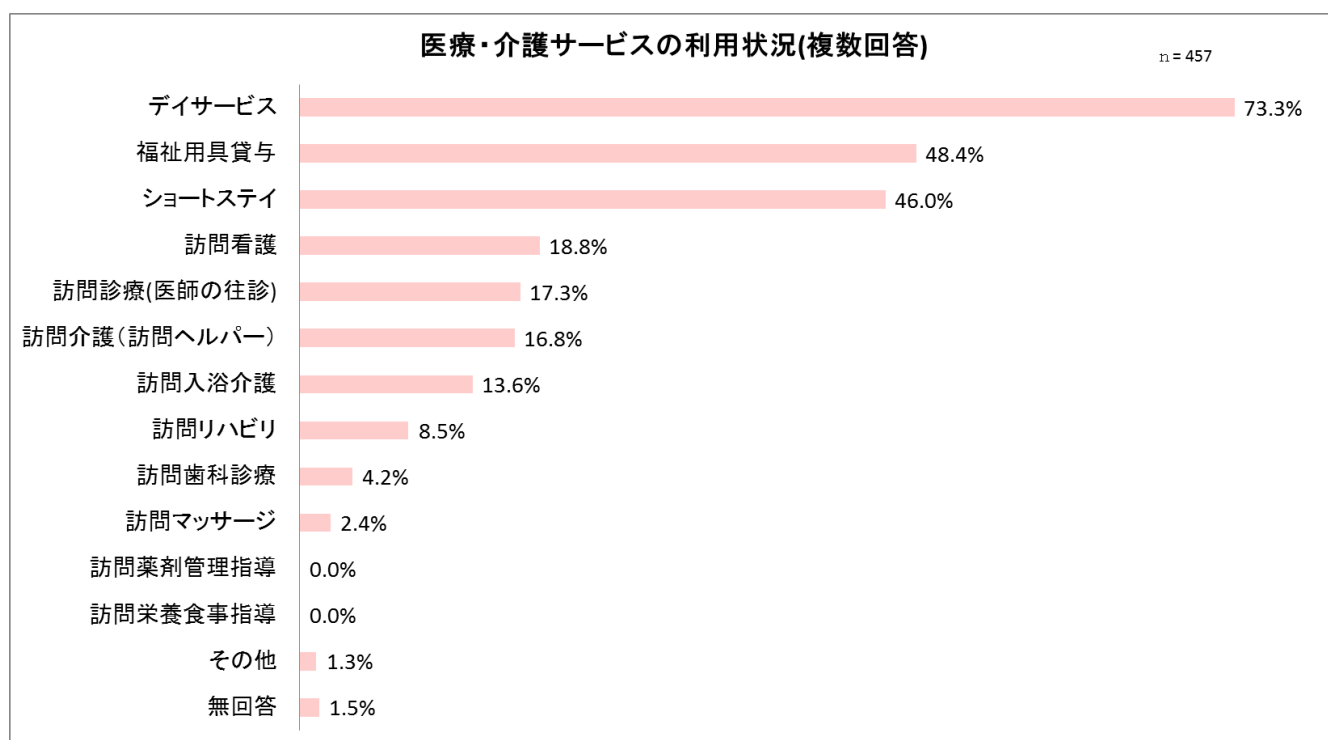


■問4、介護を受けている方が、現在利用している医療・介護保険のサービスはありますか。

要介護者が最も利用している医療・介護サービスはデイサービスで73.3%と最も多く、次いで福祉用具貸与48.4%、ショートステイ46.0%となっています。一方、訪問薬剤管理指導、訪問栄養食事指導の利用は0件で全く利用されていないという結果でした。

図表 I-1-2-9：医療・介護サービスの利用状況(複数回答)

利用している医療・介護保険サービス	人数	割合
デイサービス	335	73.3%
福祉用具貸与	221	48.4%
ショートステイ	210	46.0%
訪問看護	86	18.8%
訪問診療(医師の往診)	79	17.3%
訪問介護(訪問ヘルパー)	77	16.8%
訪問入浴介護	62	13.6%
訪問リハビリ	39	8.5%
訪問歯科診療	19	4.2%
訪問マッサージ	11	2.4%
訪問薬剤管理指導	0	0.0%
訪問栄養食事指導	0	0.0%
その他	6	1.3%
無回答	7	1.5%
のべ人数	1152	
回答人数	457	



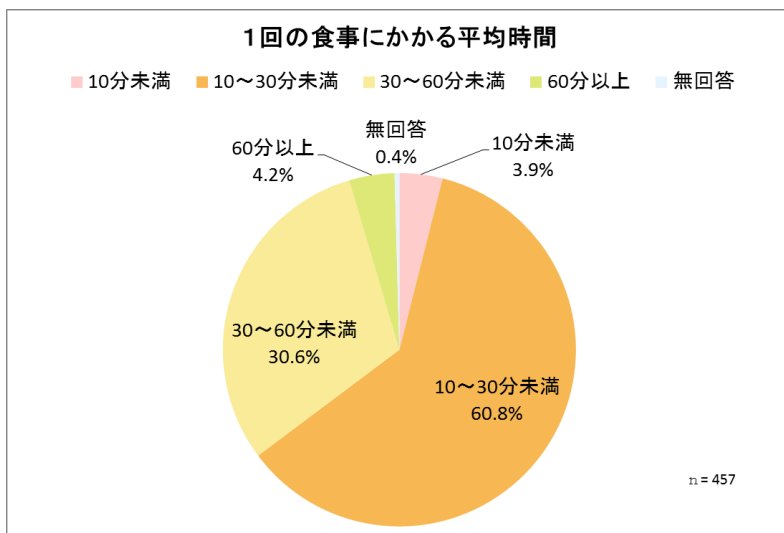
(3) 食事の状況

■問5、介護を受けている方が、1回の食事にかかる時間はどのくらいですか。平均的な時間をお答えください。

要介護者の1回の食事にかかる時間は10～30分未満が最も多いものの、30分～60分未満の方が30.6%、60分以上の方が4.2%、10分未満の方が3.9%という結果でした。

図表 I-1-2-10：1回の食事にかかる平均時間

1回の食事の平均時間	人数	割合
10分未満	18	3.9%
10～30分未満	278	60.8%
30～60分未満	140	30.6%
60分以上	19	4.2%
無回答	2	0.4%
回答人数	457	

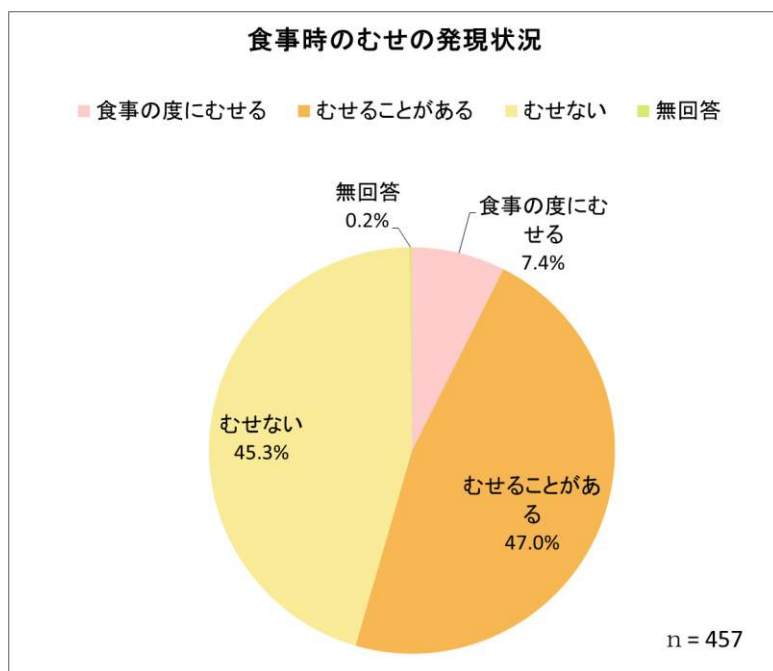


■問6、介護を受けている方が、食事の際にむせることはありますか。

食事中のむせの発現状況について、「むせることがある」が47.0%と最も多く、「食事の度にむせる」の7.4%を合わせると要介護者の54.4%が食事の際にむせがあるという結果でした。

図表 I-1-2-11：食事時のむせの発現状況

食事時のむせの発現状況	人数	割合
食事の度にむせる	34	7.4%
むせることがある	215	47.0%
むせない	207	45.3%
無回答	1	0.2%
回答人数	457	



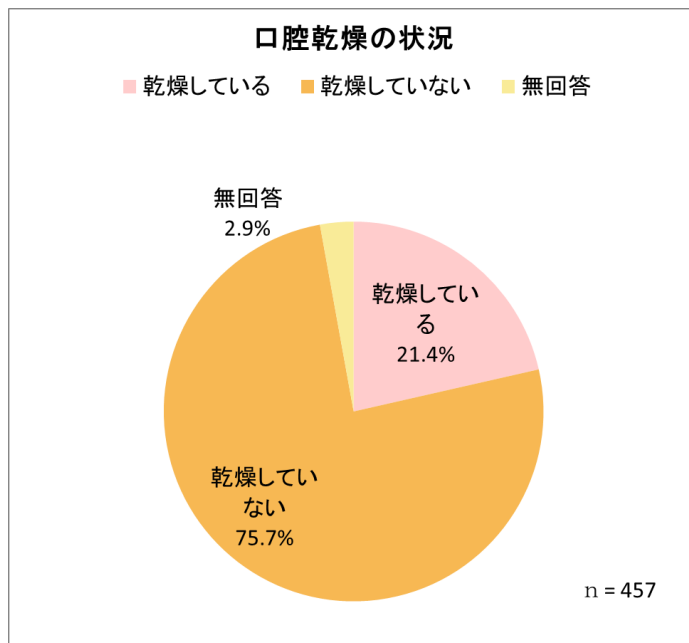
(4) 口腔の状態

■問7、介護を受けている方の口の中は乾燥していますか(食事の時を除く)。

要介護者の21.4%は口腔が「乾燥している」という結果でした。

図表 I-1-2-12：口腔乾燥の状況

口腔乾燥の状況	人数	割合
乾燥している	98	21.4%
乾燥していない	346	75.7%
無回答	13	2.9%
回答人数	457	

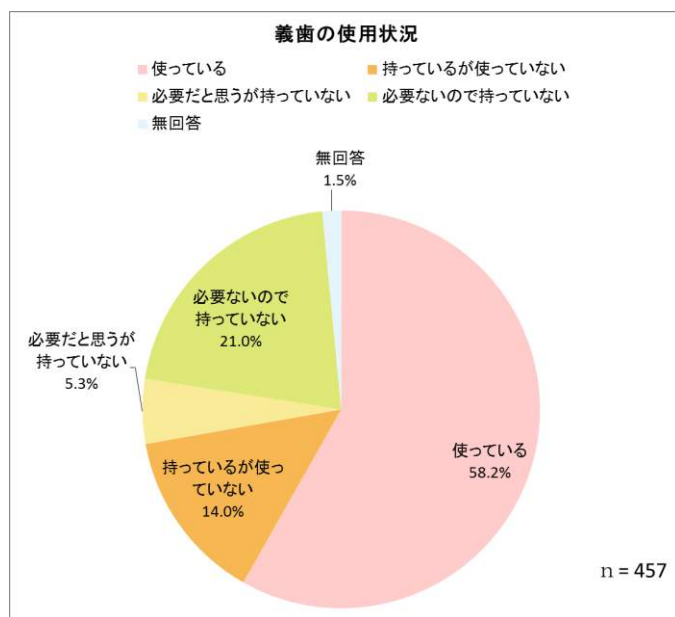


■問8、介護を受けている方は、入れ歯を使っていますか。

義歯の使用については、要介護者のうち58.2%が「使っている」と回答。一方で「持っているが使っていない」と回答した方が14.0%、「必要だと思うが持っていない」と回答された方が5.3%という結果でした。

図表 I-1-2-13：義歯の使用状況

義歯の使用状況	人数	割合
使っている	266	58.2%
持っているが使っていない	64	14.0%
必要だと思うが持っていない	24	5.3%
必要ないので持っていない	96	21.0%
無回答	7	1.5%
回答人数	457	



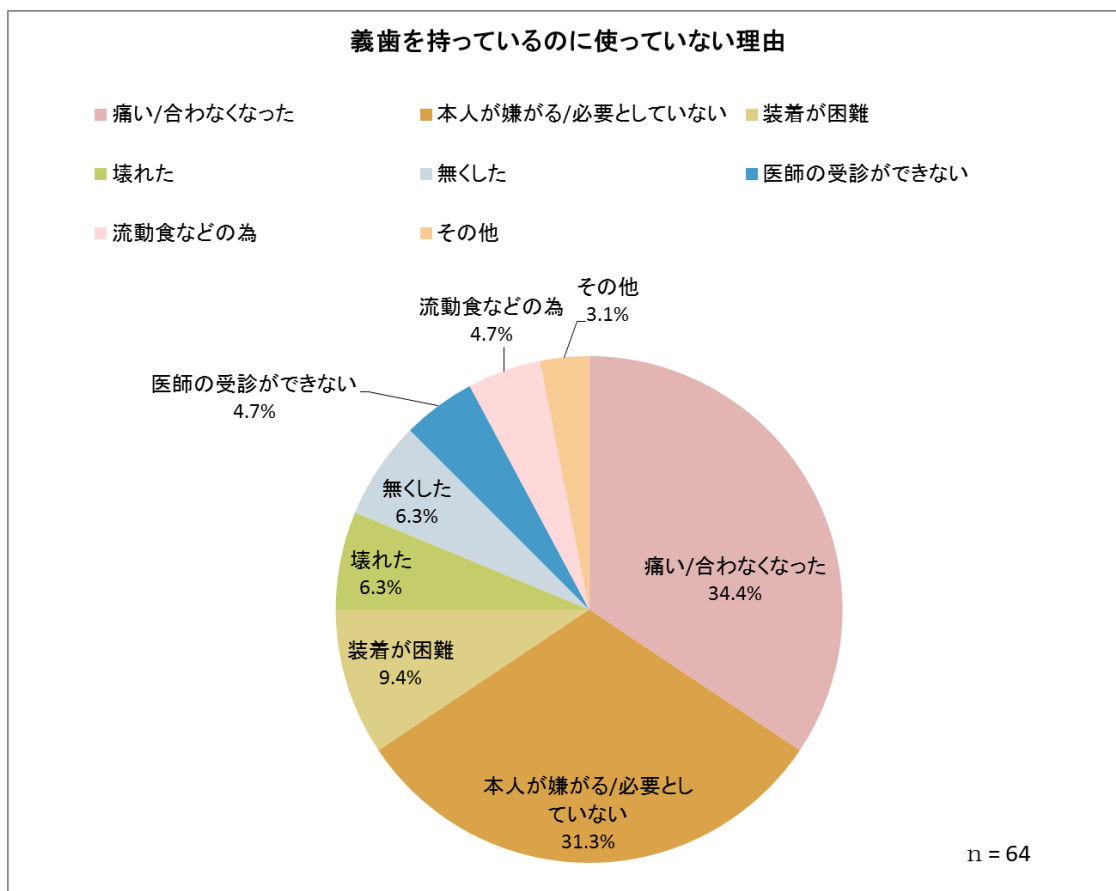
■【問8で「2. 持っているが使っていない」と回答された方におたずねします。】

問9、介護を受けている方が、現在、入れ歯を使っていない理由をお答えください。（自由記載）

義歯を持っているにも関わらず現在使用していない理由としては、「痛い」「合わなくなった」などの義歯の不具合が34.4%と最も多く、次いで「本人が嫌がる」「必要としていない」などの要介護者本人の拒否が31.3%という結果でした。

図表 I -1-2-14：義歯を持っているのに使っていない理由

義歯を持っているのに使っていない理由	人数	割合
痛い/合わなくなった	22	34.4%
本人が嫌がる/必要としていない	20	31.3%
装着が困難	6	9.4%
壊れた	4	6.3%
無くした	4	6.3%
医師の受診ができない	3	4.7%
流動食などの為	3	4.7%
その他	2	3.1%
回答人数	64	



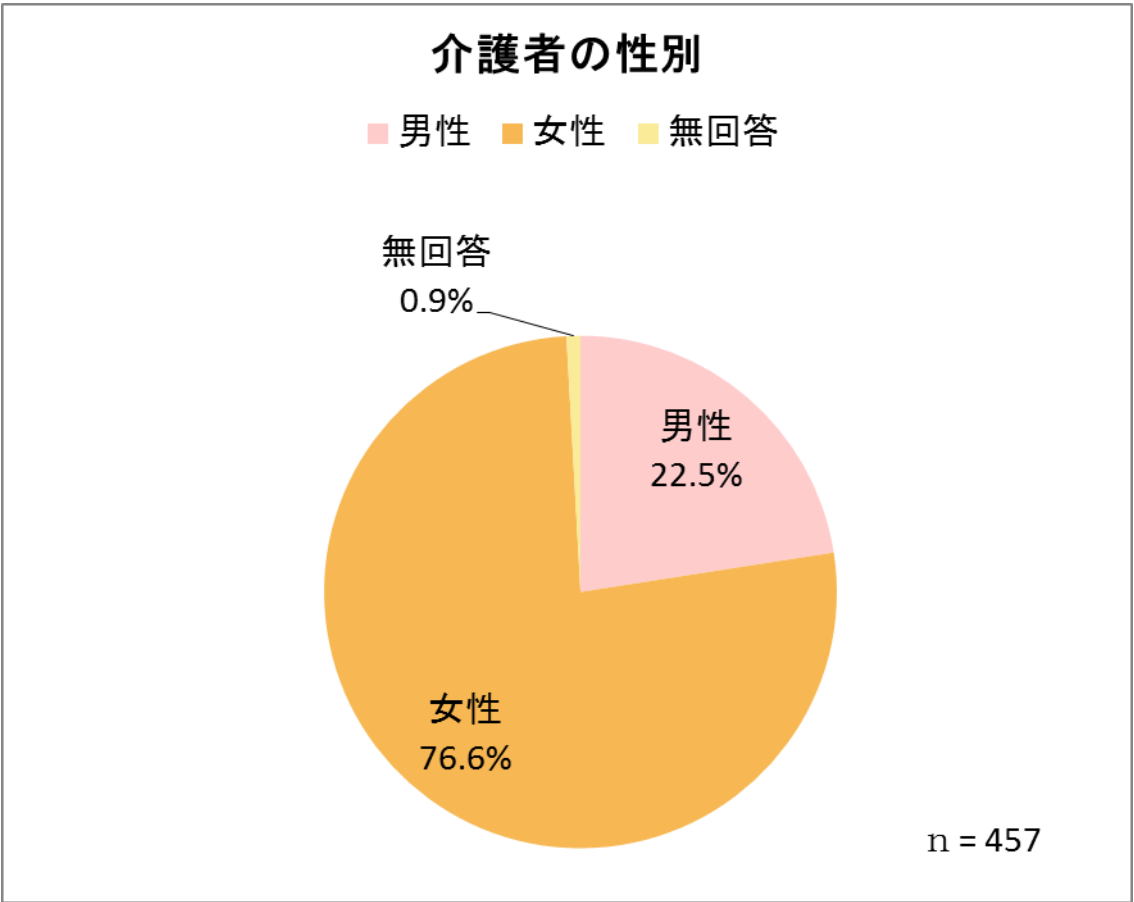
2. 介護者について
(1) 基本属性

■問 10、あなたの性別をお伺いします。

主な介護者は男性が 22.5%、女性が 76.6%で、自宅での介護は主に女性が担っているという結果でした。

図表 I-1-2-15：介護者の性別

介護者家族の性別	人数	割合
男性	103	22.5%
女性	350	76.6%
無回答	4	0.9%
回答人数	457	

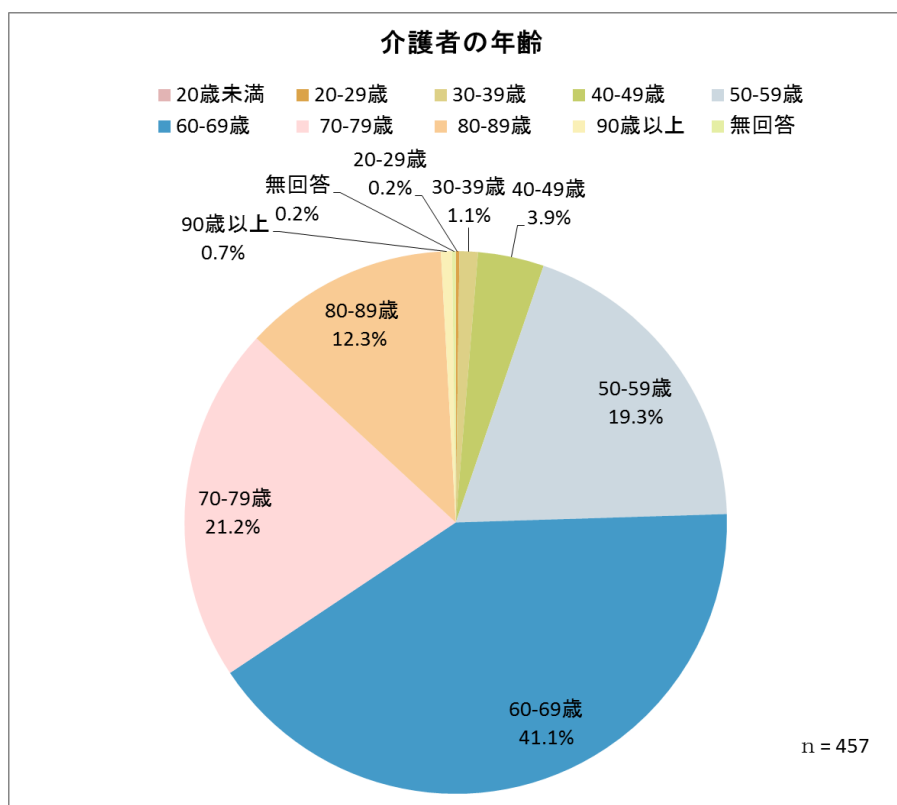


■問 11、あなたの年齢はいくつですか。

介護者の年齢は 60 代が 41.1%と最も多く、次いで 70 代が 21.2%、50 代が 19.3%。50～80 代で全体の 93.9%を占めていました。70 歳以上が 34.2%を占めており、要介護者の 3 割以上が老老介護となっているという結果でした。

図表 I-1-2-16：介護者の年齢

介護者の年齢	人数	割合
20歳未満	0	0.0%
20-29歳	1	0.2%
30-39歳	5	1.1%
40-49歳	18	3.9%
50-59歳	88	19.3%
60-69歳	188	41.1%
70-79歳	97	21.2%
80-89歳	56	12.3%
90歳以上	3	0.7%
無回答	1	0.2%
回答人数	457	

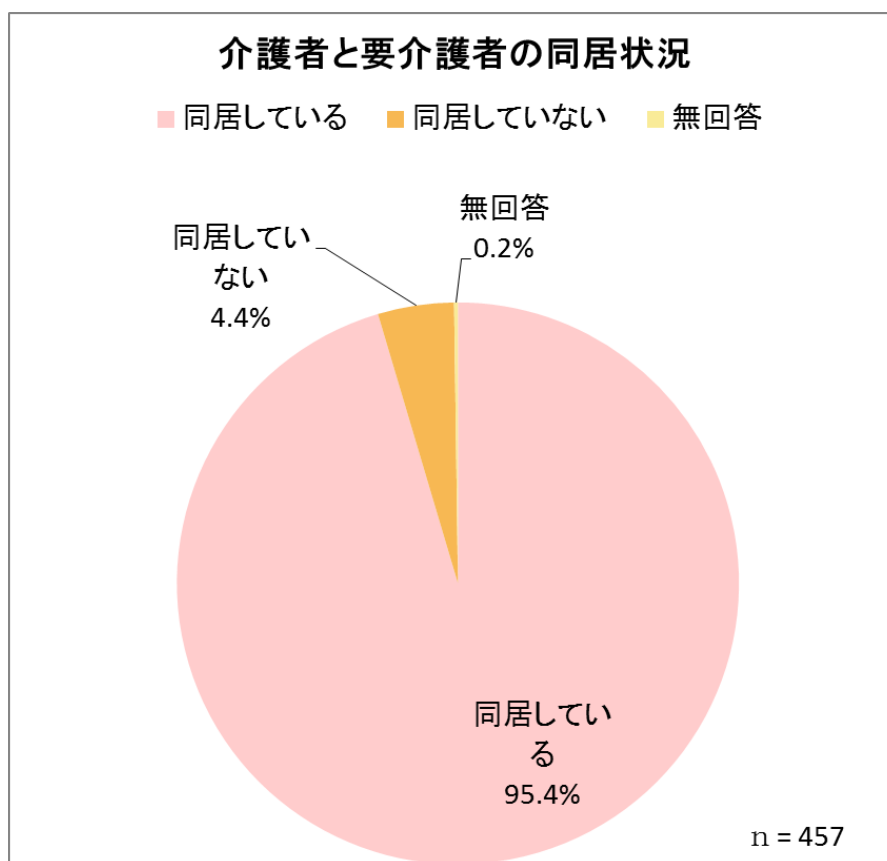


■問 12、あなたは、介護を受けている方と一緒に住んでいますか。

介護者は、95.4%が要介護者と同居をしているという結果でした。

図表 I-1-2-17：介護者と要介護者の同居状況

介護者と要介護者の同居状況	人数	割合
同居している	436	95.4%
同居していない	20	4.4%
無回答	1	0.2%
回答人数	457	

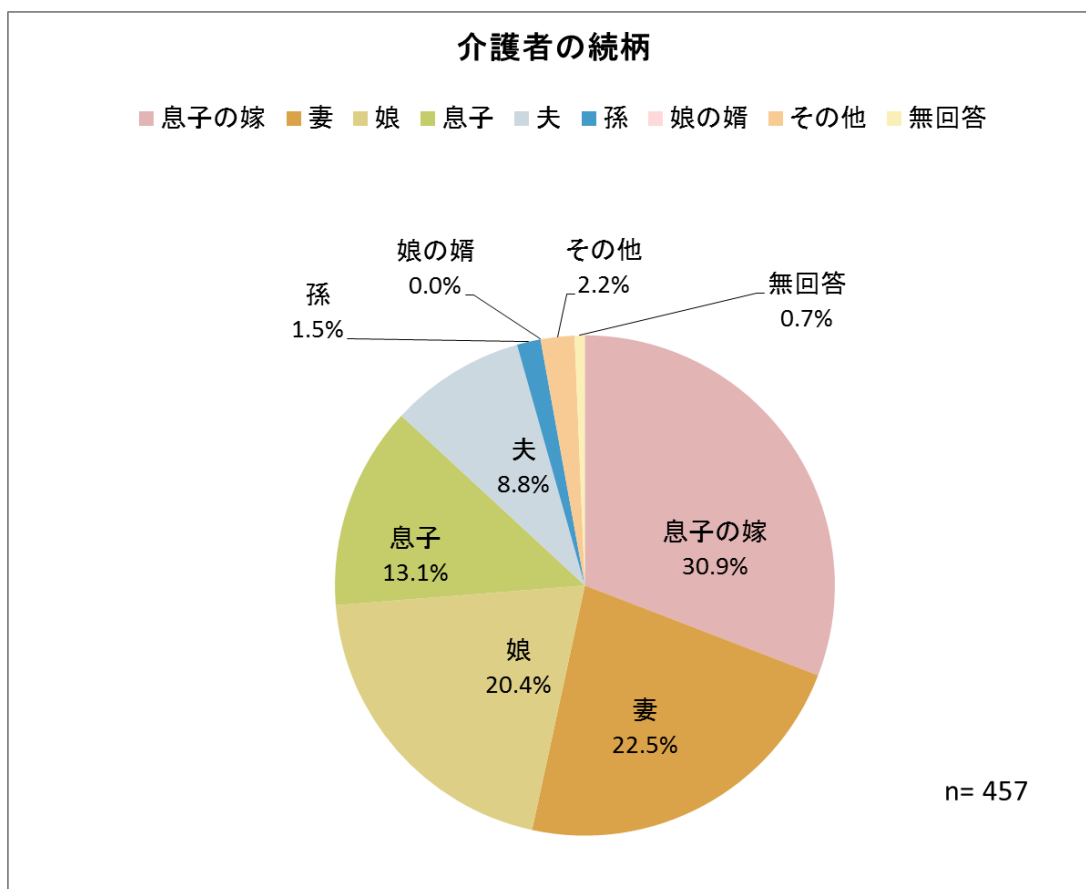


■問 13、介護を受けている方から見たあなたの続柄をお答えください。

主な介護者の続柄は息子の嫁が 30.9%で最も多く、次いで妻 22.5%、娘 20.4%という結果でした。男性介護者として、息子が 13.1%、夫が 8.8%となっています。

図表 I-1-2-18：介護者の続柄

介護者の続柄	人数	割合
息子の嫁	141	30.9%
妻	103	22.5%
娘	93	20.4%
息子	60	13.1%
夫	40	8.8%
孫	7	1.5%
娘の婿	0	0.0%
その他	10	2.2%
無回答	3	0.7%
回答人数	457	

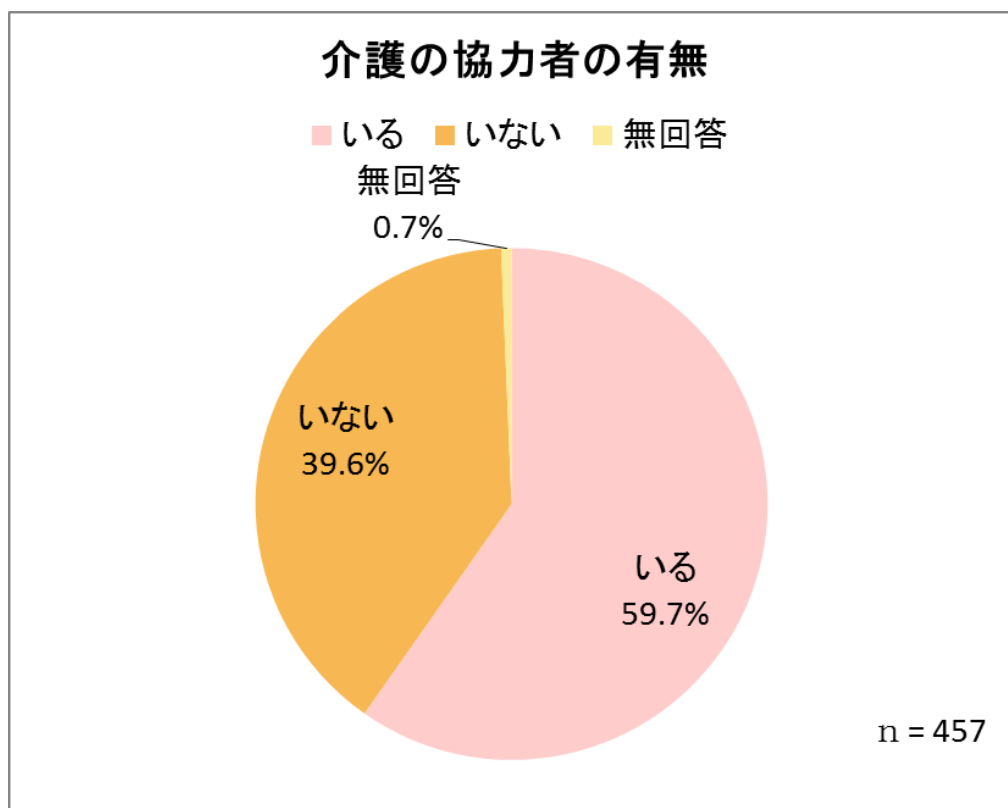


■問 14、あなた以外に家族の中で、介護を手伝ってくれる人はいますか。

家族で介護を手伝ってくれる協力者が「いる」と回答された方は 59.7%で、39.6%は一人で介護をしなければならない状況にあるという結果でした。

図表 I-1-2-19：介護の協力者の有無

介護の協力者の有無	人数	割合
いる	273	59.7%
いない	181	39.6%
無回答	3	0.7%
回答人数	457	



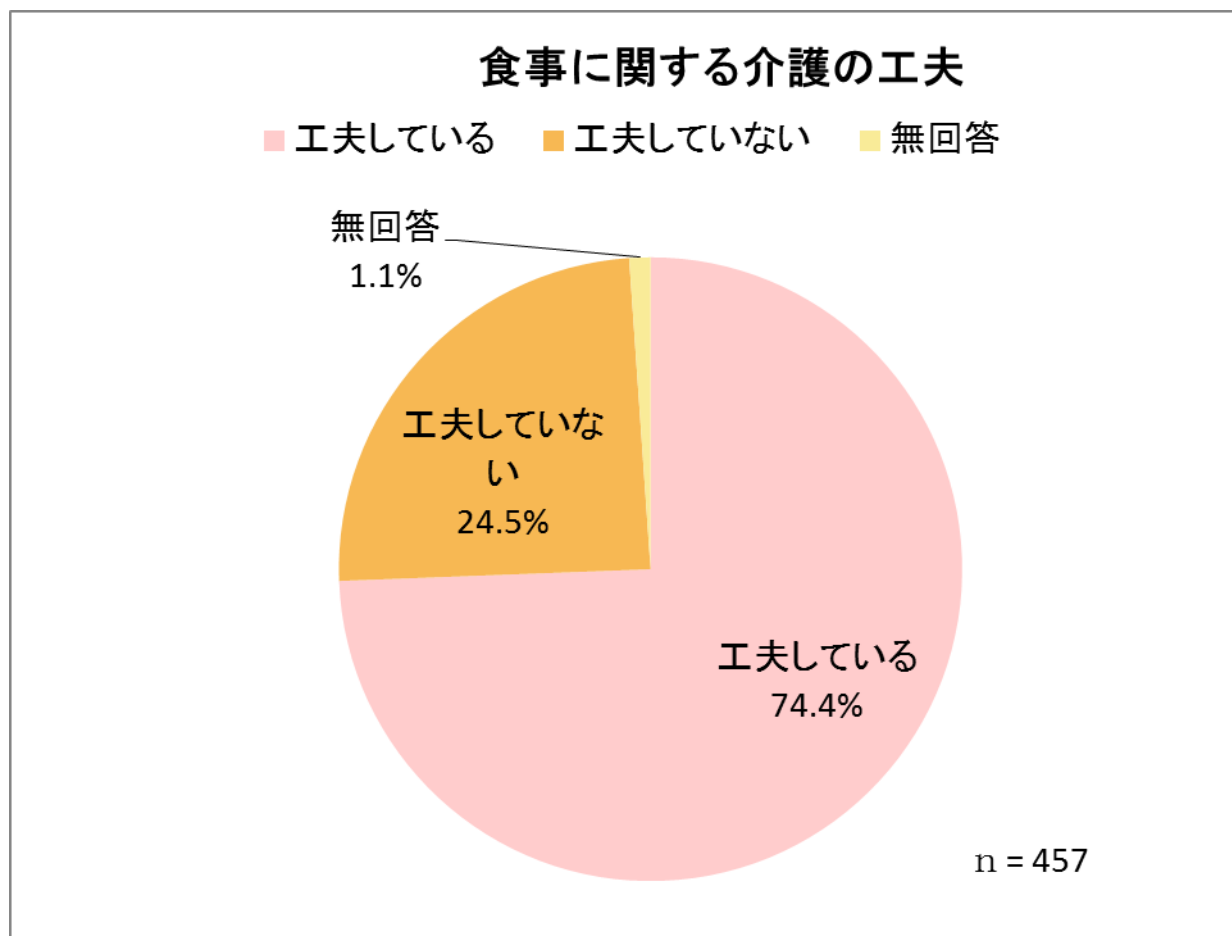
(2) 食事に関する介護状況

■問 15、 介護を受けている方のために、食事介助や食事の準備でどんなことをしていますか。

食事介助や食事準備で「工夫していない」と回答された方は全体の 24.5%で、それ以外の 74.4%の世帯では食事において何らかの工夫をしているという結果でした。具体的な工夫内容は、「家族とは別にやわらかく調理している」が 47.6%で最も多く、次いで「食べさせてはいないが、危険がないか見守りをしている」が 39.7%、「食事を刻んでいる」が 37.9%という結果でした。

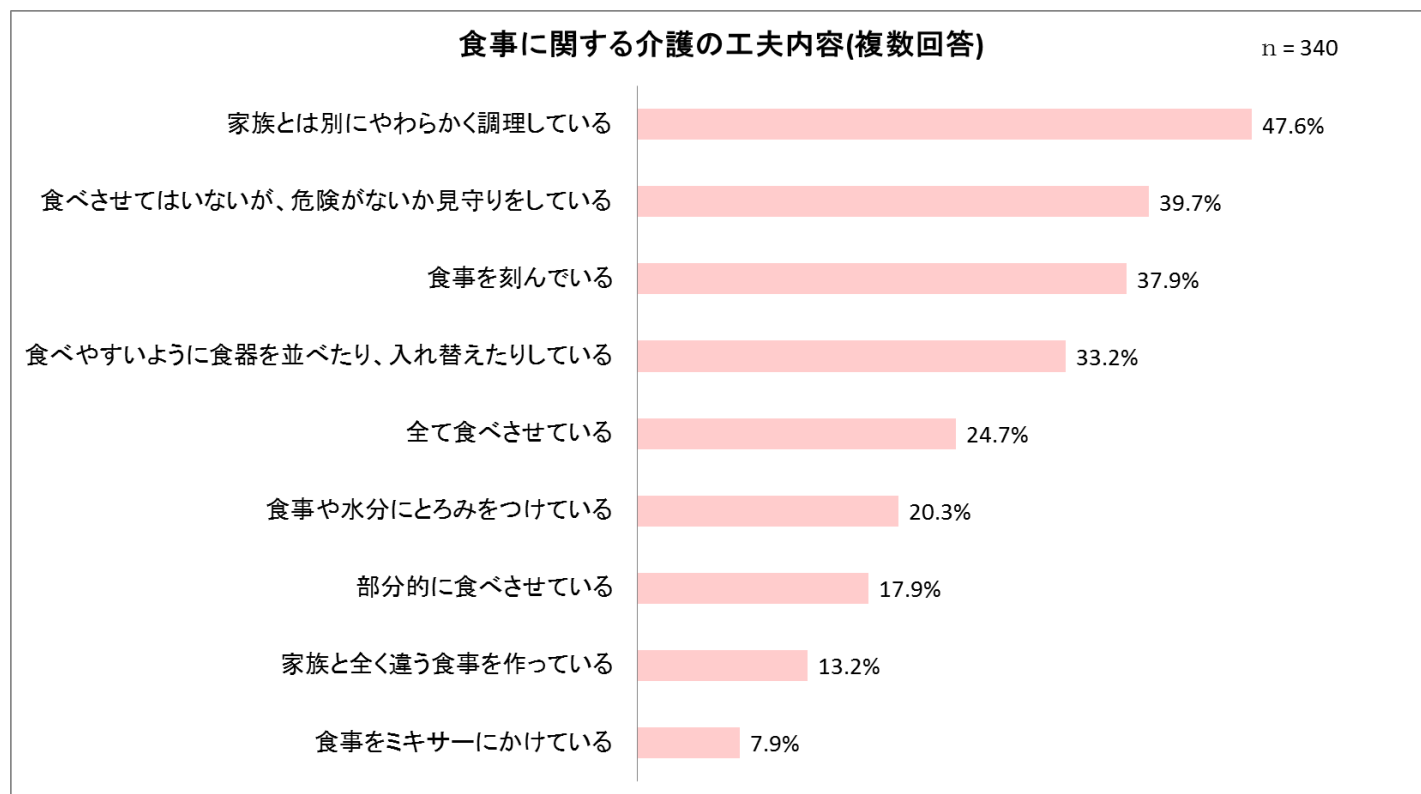
図表 I-1-2-20：食事に関する介護の工夫

食事に関する介護の工夫	人数	割合
工夫している	340	74.4%
工夫していない	112	24.5%
無回答	5	1.1%
回答人数	457	



図表 I-1-2-21：食事に関する介護の工夫内容(複数回答)

食事に関する介護の工夫内容	人数	割合
家族とは別にやわらかく調理している	162	47.6%
食べさせてはいないが、危険がないか見守りをしている	135	39.7%
食事を刻んでいる	129	37.9%
食べやすいように食器を並べたり、入れ替えたりしている	113	33.2%
全て食べさせている	84	24.7%
食事や水分にとろみをつけている	69	20.3%
部分的に食べさせている	61	17.9%
家族と全く違う食事を作っている	45	13.2%
食事をミキサーにかけている	27	7.9%
のべ人数	825	
回答人数	340	



(3) 利用している食材や食品

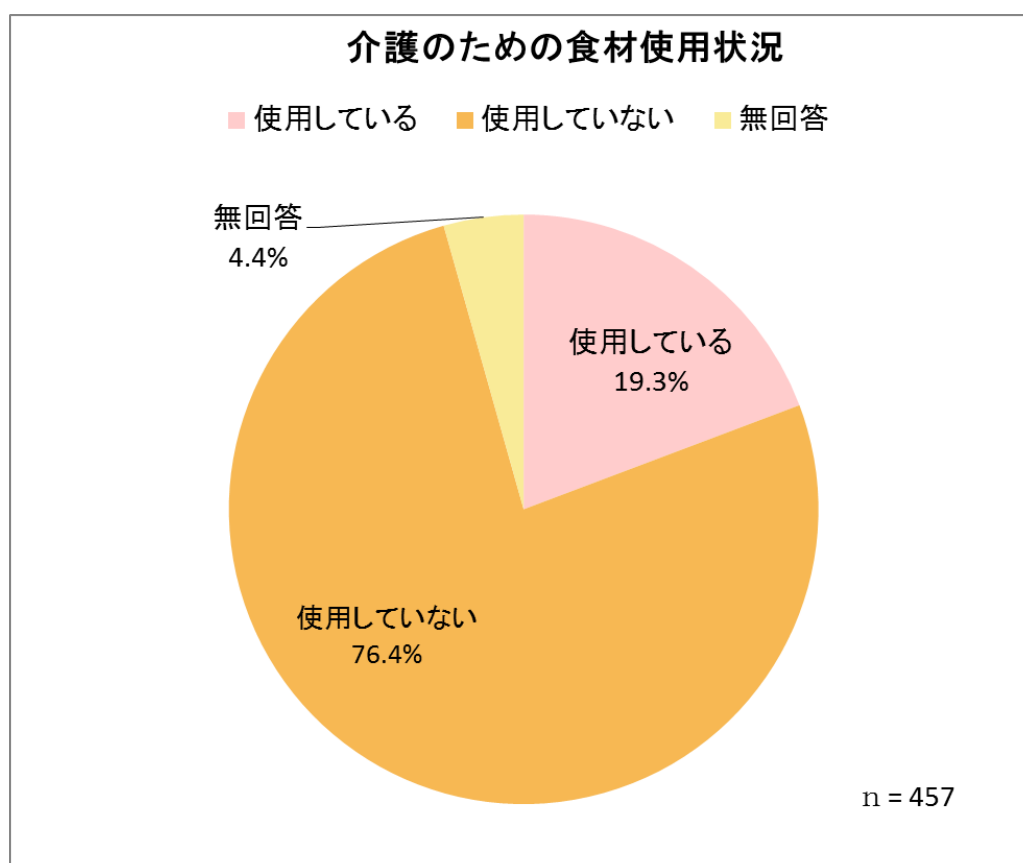
■問 16、介護を受けている方のために、家族とは別に使っている食品はありますか。

介護のために家族とは別の食材を「使用している」と回答した世帯の割合は 19.3%、「使用していない」と回答した世帯が 76.4%という結果でした。

家族とは別な食材を「使用している」と回答した世帯で使用している食材は、「介護用のレトルト食品」が 53.4%と最も多く、次いで「一般のレトルト食品（お粥・カレーなど）」が 35.2%、「市販のお弁当やお惣菜」が 34.1%という結果でした。

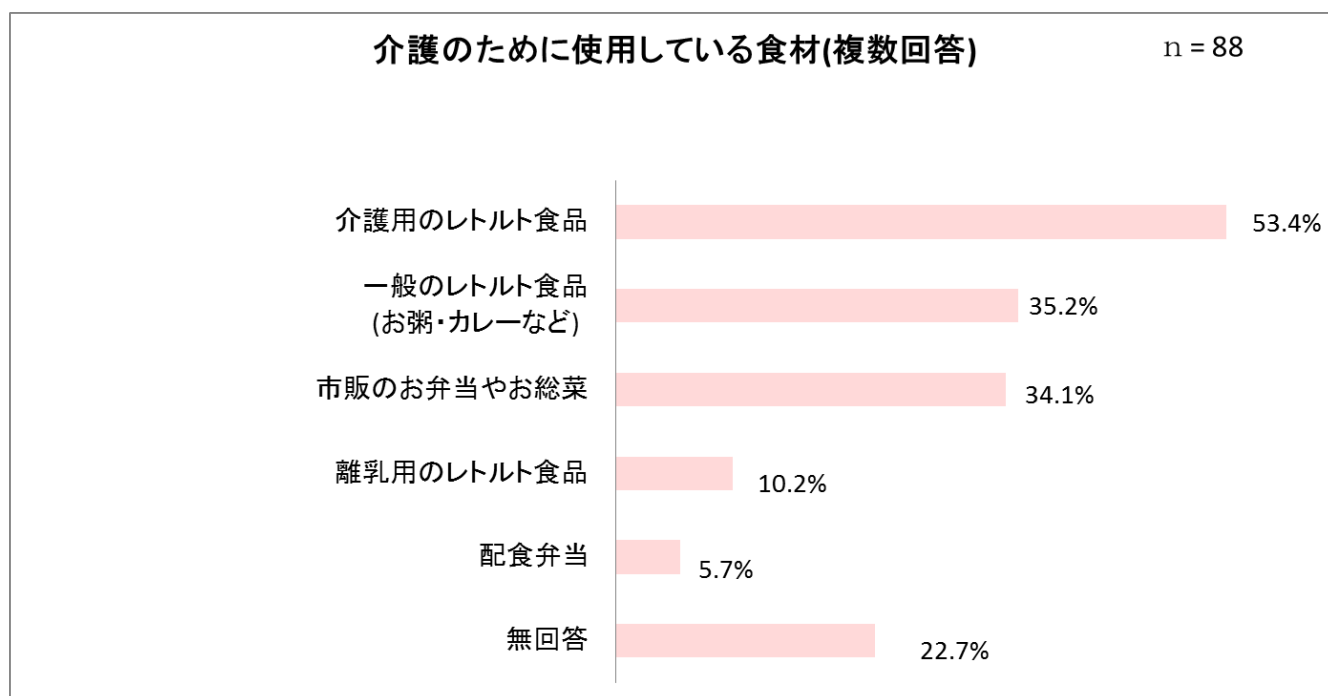
図表 I-1-2-22：介護のための食材使用状況

介護のための食材使用状況	人数	割合
使用している	88	19.3%
使用していない	349	76.4%
無回答	20	4.4%
回答人数	457	



図表 I-1-2-23：介護のために使用している食材(複数回答)

介護のために使用している食材	人数	割合
介護用のレトルト食品	47	53.4%
一般のレトルト食品 (お粥・カレーなど)	31	35.2%
市販のお弁当やお総菜	30	34.1%
離乳用のレトルト食品	9	10.2%
配食弁当	5	5.7%
無回答	20	22.7%
のべ人数	142	
回答人数	88	



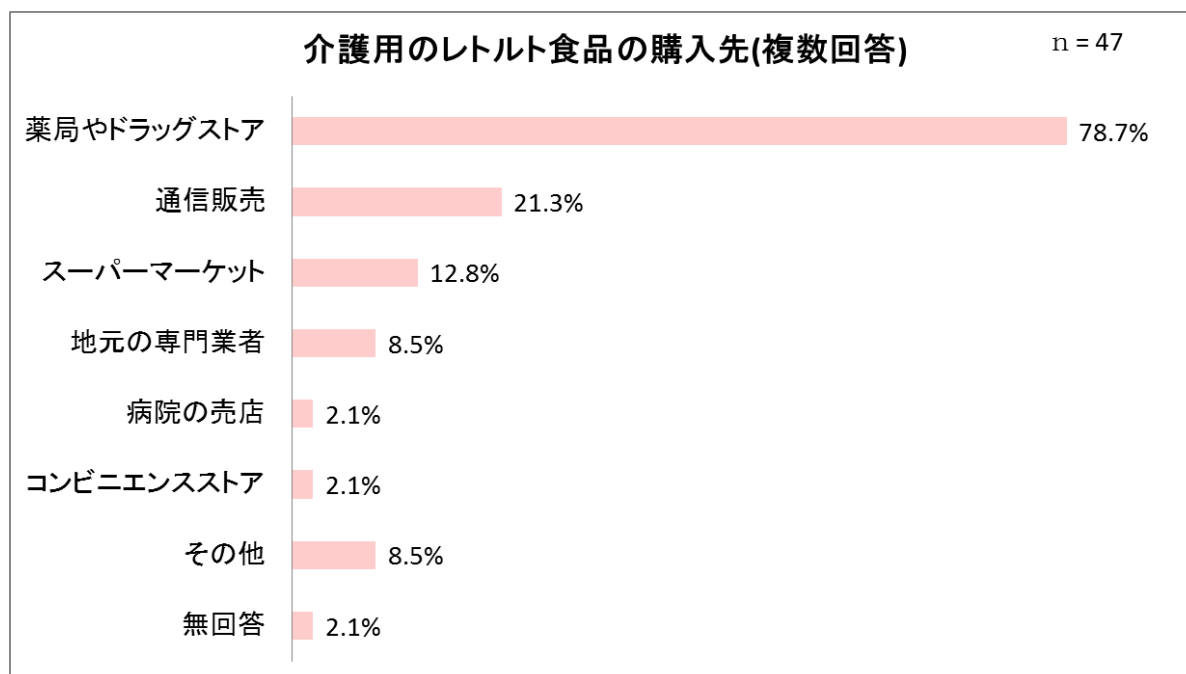
■【問 16 で「2.介護用のレトルト食品」と回答された方におたずねします。】

問 17、介護用のレトルト食品はどこから購入していますか。

介護用のレトルト食品の購入先は「薬局やドラッグストア」が 78.7%で最も多く、次いで「通信販売」21.3%という結果でした。

図表 I-1-2-24：介護用のレトルト食品の購入先(複数回答)

介護用レトルト食の購入先	人数	割合
薬局やドラッグストア	37	78.7%
通信販売	10	21.3%
スーパーマーケット	6	12.8%
地元の専門業者	4	8.5%
病院の売店	1	2.1%
コンビニエンスストア	1	2.1%
その他	4	8.5%
無回答	1	2.1%
のべ人数	64	
回答人数	47	



■【問 16 で「2.介護用のレトルト食品」と回答された方におたずねします。】

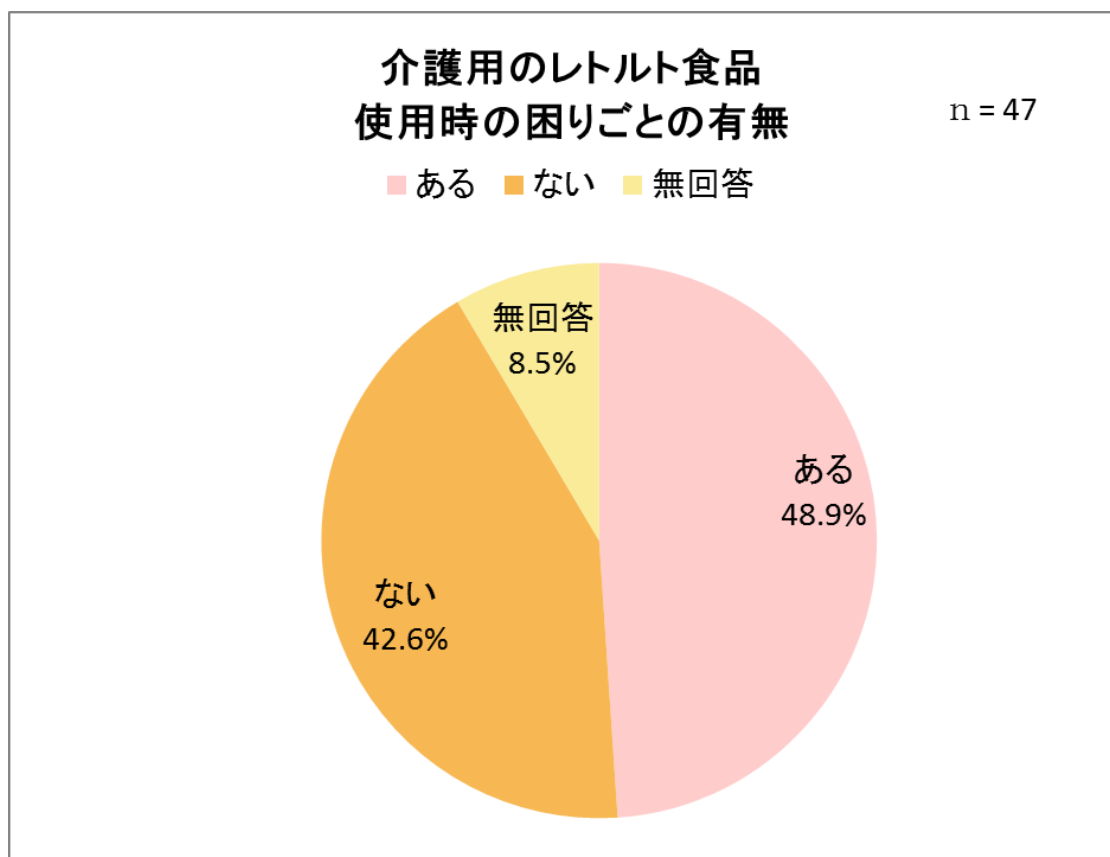
問 18、介護用のレトルト食品を使っている世帯は、困ることはありますか。

介護用のレトルト食品を使っている世帯の 48.9%が、何らかの困りごとを感じています。

その理由の内訳は「価格が高い」が 73.9%で最も多く、次いで「種類が少ない」が 65.2%、「味覚に合わない」が、52.2%という結果でした。

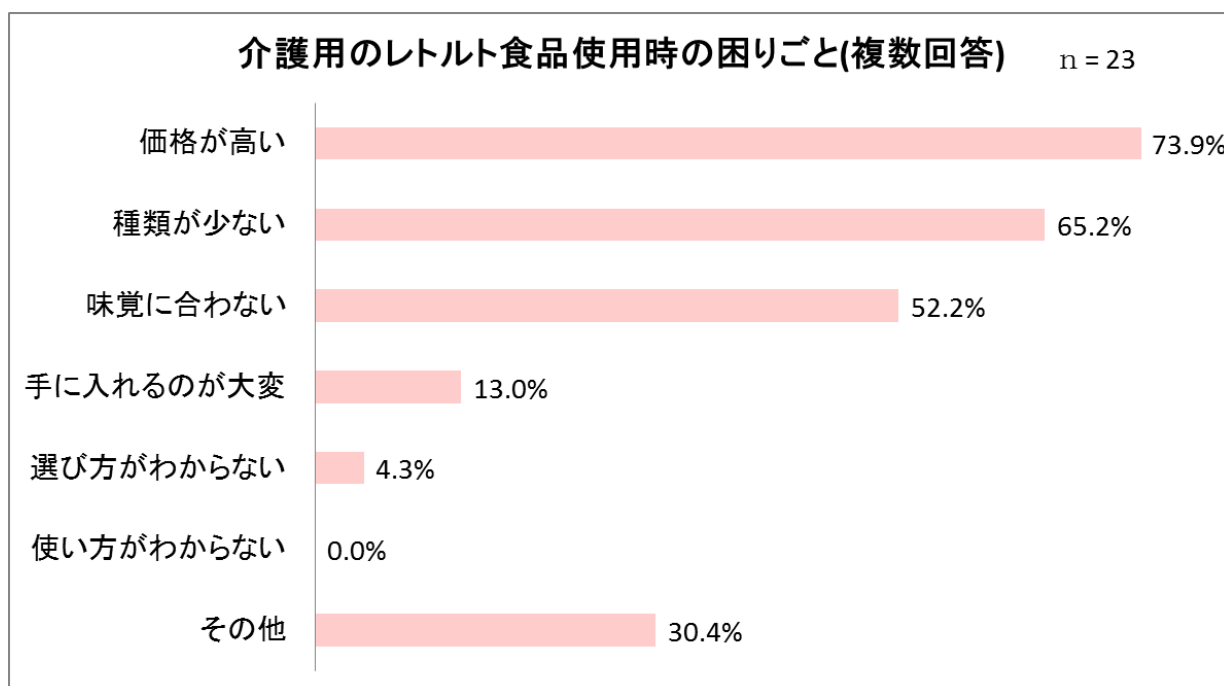
図表 I-1-2-25：介護用のレトルト食品使用時の困りごとの有無

介護用のレトルト食品使用時の困りごとの有無	人数	割合
ある	23	48.9%
ない	20	42.6%
無回答	4	8.5%
回答人数	47	



図表 I-1-2-26：介護用のレトルト食品使用時の困りごと(複数回答)

介護用のレトルト食品使用時の困りごと	人数	割合
価格が高い	17	73.9%
種類が少ない	15	65.2%
味覚に合わない	12	52.2%
手に入れるのが大変	3	13.0%
選び方がわからない	1	4.3%
使い方がわからない	0	0.0%
その他	7	30.4%
のべ人数	55	
回答人数	23	



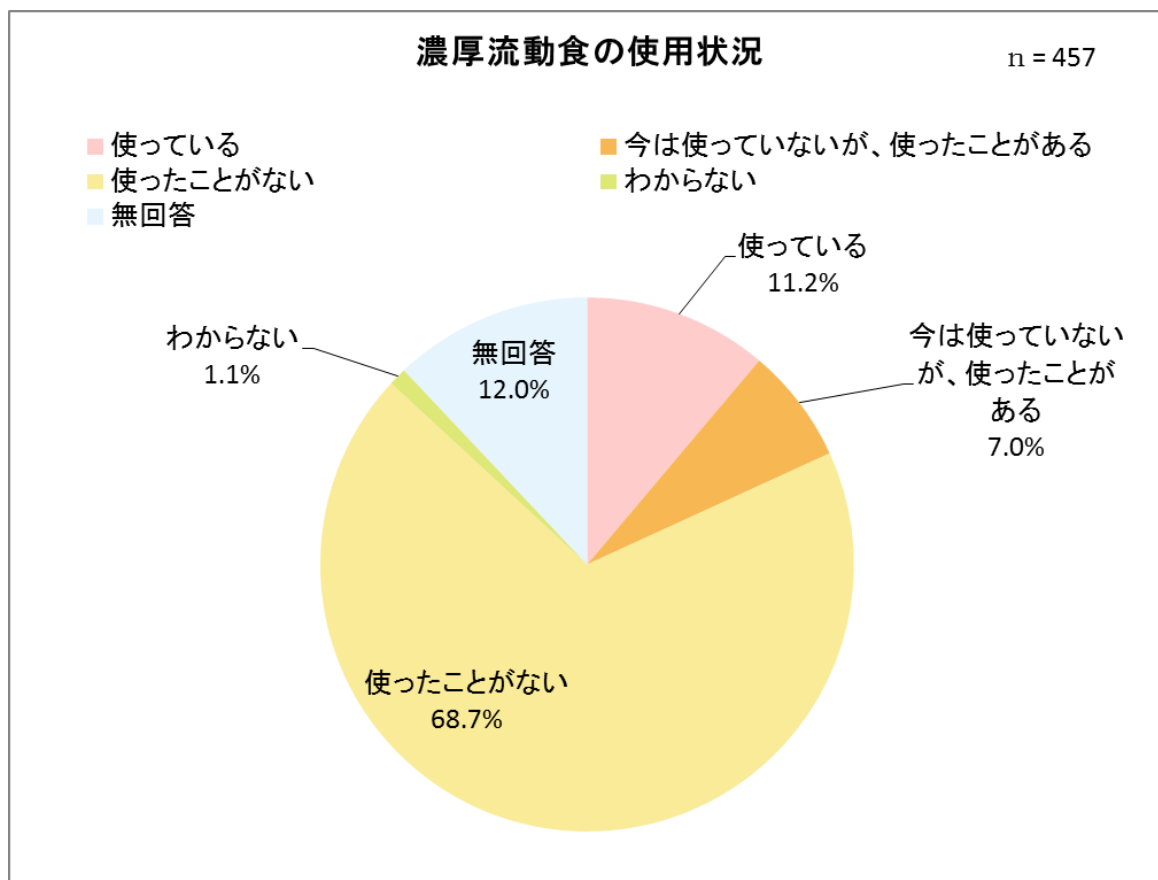
(4) 濃厚流動食の使用について

■問 19、介護を受けている方のために、濃厚流動食(栄養剤)を使っていますか。

濃厚流動食を現在「使っている」と回答した世帯が 11.2%、「今は使っていないが、使ったことがある」と回答した世帯が 7.0%という結果でした。このことから、自宅で生活する要介護者のうち 18.2%の方は、濃厚流動食を使用したことがあるということになります。

図表 I-1-2-27：濃厚流動食の使用状況

濃厚流動食の使用状況	人数	割合
使っている	51	11.2%
今は使っていないが、使ったことがある	32	7.0%
使ったことがない	314	68.7%
わからない	5	1.1%
無回答	55	12.0%
回答人数	457	



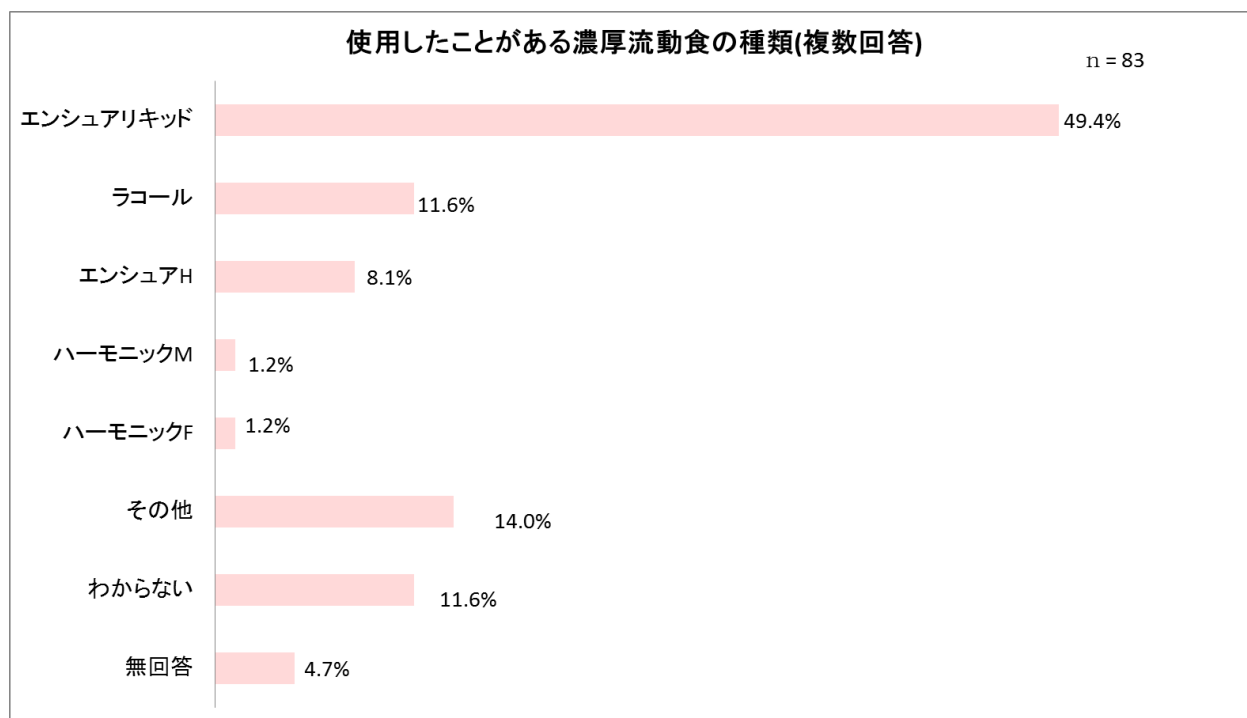
■【問 19 で「1.使っている」または「2.今は使っていないが、使ったことがある」と回答された方におたずねします。】

問 20、介護を受けている方が使っている(または使っていた)濃厚流動食(栄養剤)の製品は何ですか。

使用したことがある濃厚流動食の製品は「エンシュアリキッド」が 49.4%で最も多く、次いで「ラコール」が 11.6%という結果でした。

図表 I-1-2-28：使用したことがある濃厚流動食の種類(複数回答)

使用したことがある濃厚流動食の種類	人数	割合
エンシュアリキッド	41	49.4%
ラコール	10	11.6%
エンシュアH	7	8.1%
ハーモニックM	1	1.2%
ハーモニックF	1	1.2%
その他	12	14.0%
わからない	10	11.6%
無回答	4	4.7%
のべ人数	86	
回答人数	83	



■【問 19 で「1.使っている」または「2.今は使っていないが、使ったことがある」と回答された方におたずねします。】

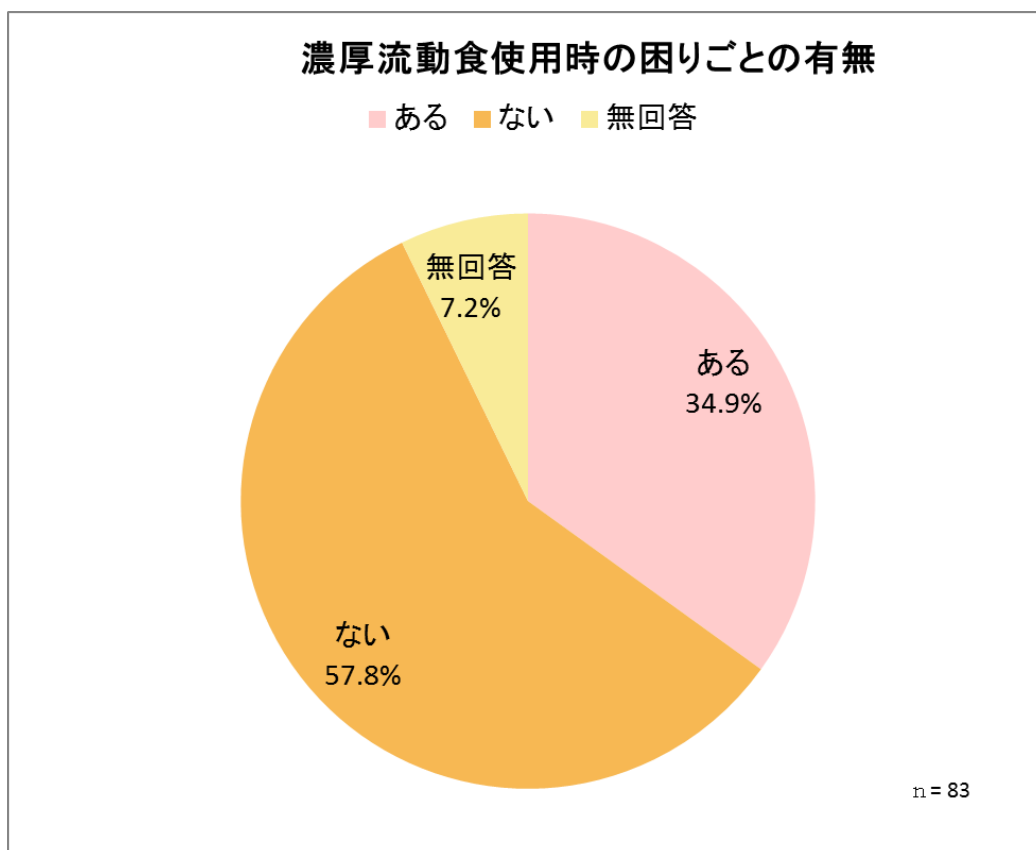
問 21、濃厚流動食(栄養剤)を使っていて困ったことはありますか。

濃厚流動食を使ったことがある世帯のうち、34.9%の方が濃厚流動食について、何らかの困りごとを抱えているという結果でした。

困りごとの内容は「味覚に合わない」が 37.9%で最も多く、次いで「価格が高い」31.0%という結果でした。

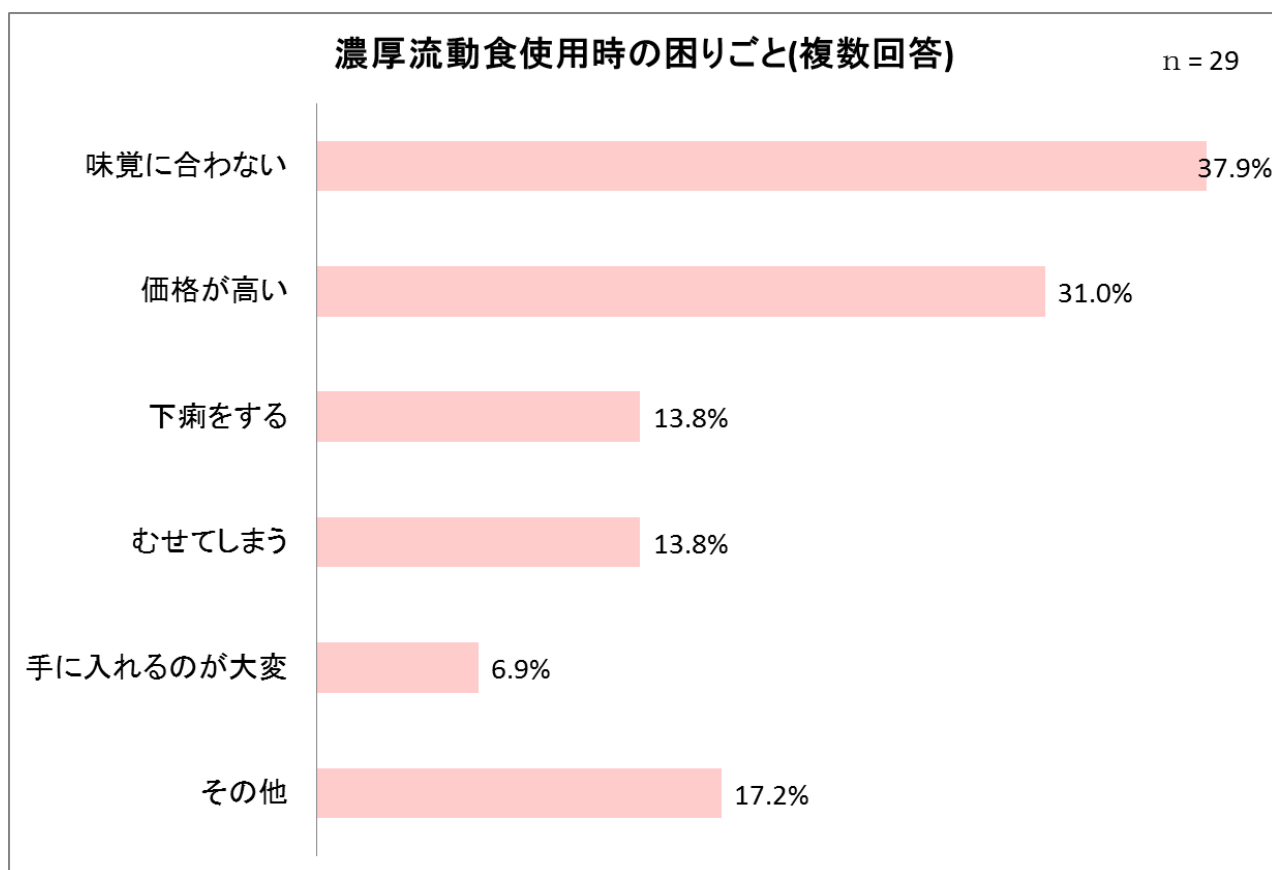
図表 I-1-2-29：濃厚流動食使用時の困りごとの有無

濃厚流動食使用時の困りごとの有無	人数	割合
ある	29	34.9%
ない	48	57.8%
無回答	6	7.2%
回答人数	83	



図表 I-1-2-30：濃厚流動食使用時の困りごと(複数回答)

濃厚流動食使用時の困りごと	人数	割合
味覚に合わない	11	37.9%
価格が高い	9	31.0%
下痢をする	4	13.8%
むせてしまう	4	13.8%
手に入れるのが大変	2	6.9%
その他	5	17.2%
のべ人数	35	
回答人数	29	



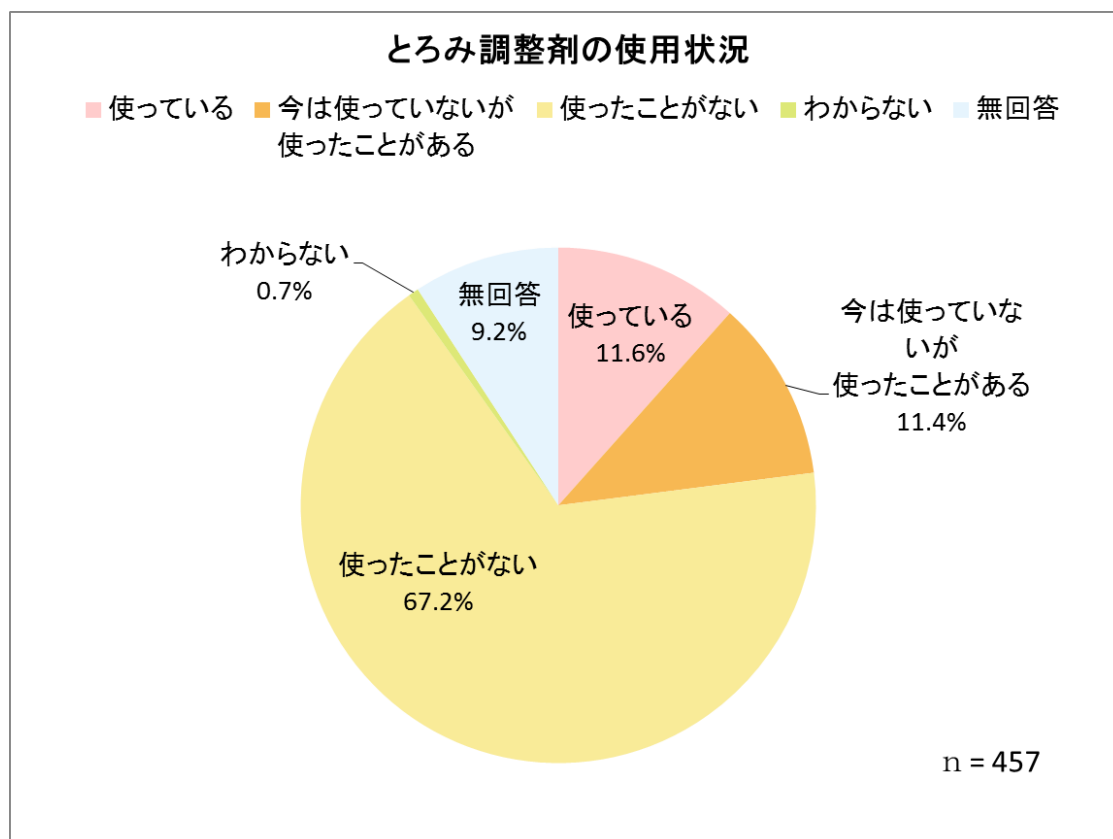
(5) とろみ調整剤の使用について

■問 22、とろみ調整剤を使っていますか。

とろみ調整剤を「使っている」と回答された世帯は 11.6%、「今は使っていないが、使ったことがある」と回答された世帯は 11.4%でした。自宅で生活する要介護者の 23.0%がとろみ調整剤を使ったことがあるということになります。

図表 I-1-2-31：とろみ調整剤の使用状況

とろみ調整剤の使用状況	人数	割合
使っている	53	11.6%
今は使っていないが、使ったことがある	52	11.4%
使ったことがない	307	67.2%
わからない	3	0.7%
無回答	42	9.2%
回答人数	457	



■【問 22 で「1.使っている」「2.今は使っていないが、使ったことがある」と回答された方におたずねします。】

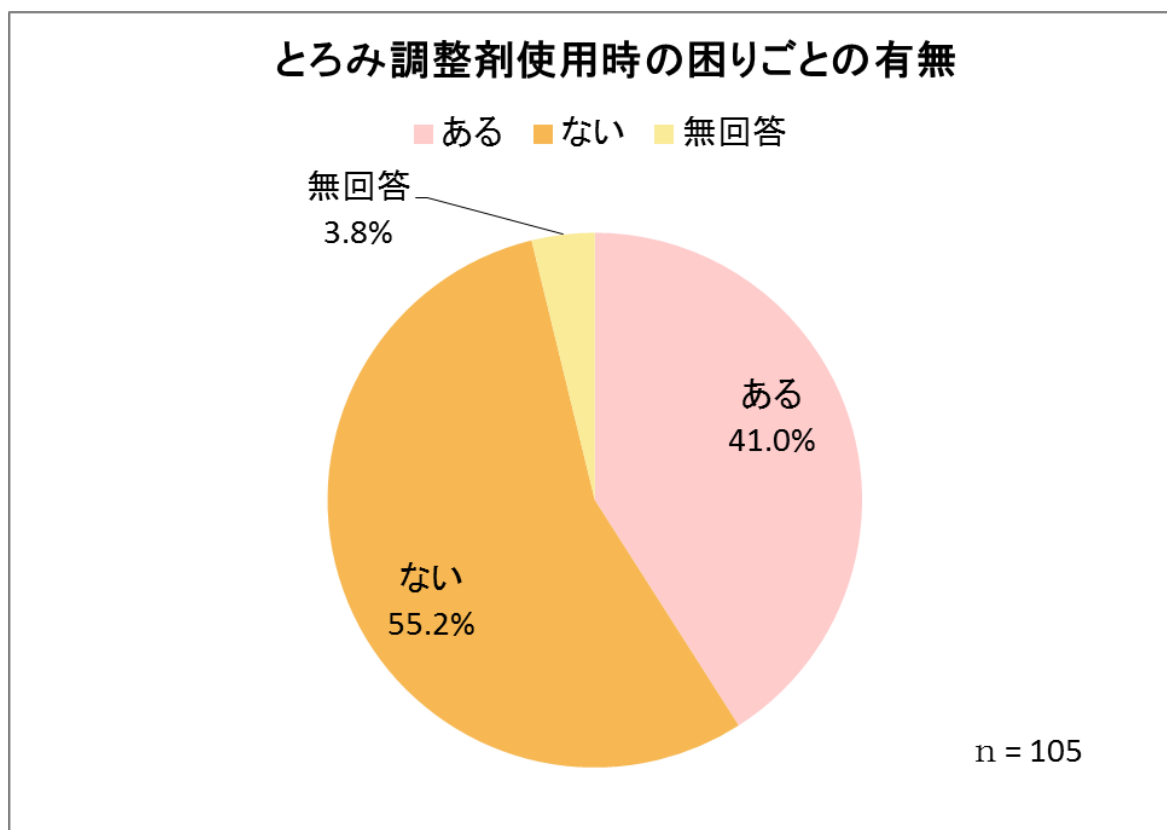
問 23、とろみ調整剤を使っていて困ったことはありますか。

とろみ調整剤を使用したことがある方のうち、41.0%の世帯で、何らかの困りごとを感じているという結果でした。

困りごとの内訳は、濃厚流動食の使用と同様に「価格が高い」が 51.2%で最も多く、次いで「味覚に合わない」が 34.9%でした。

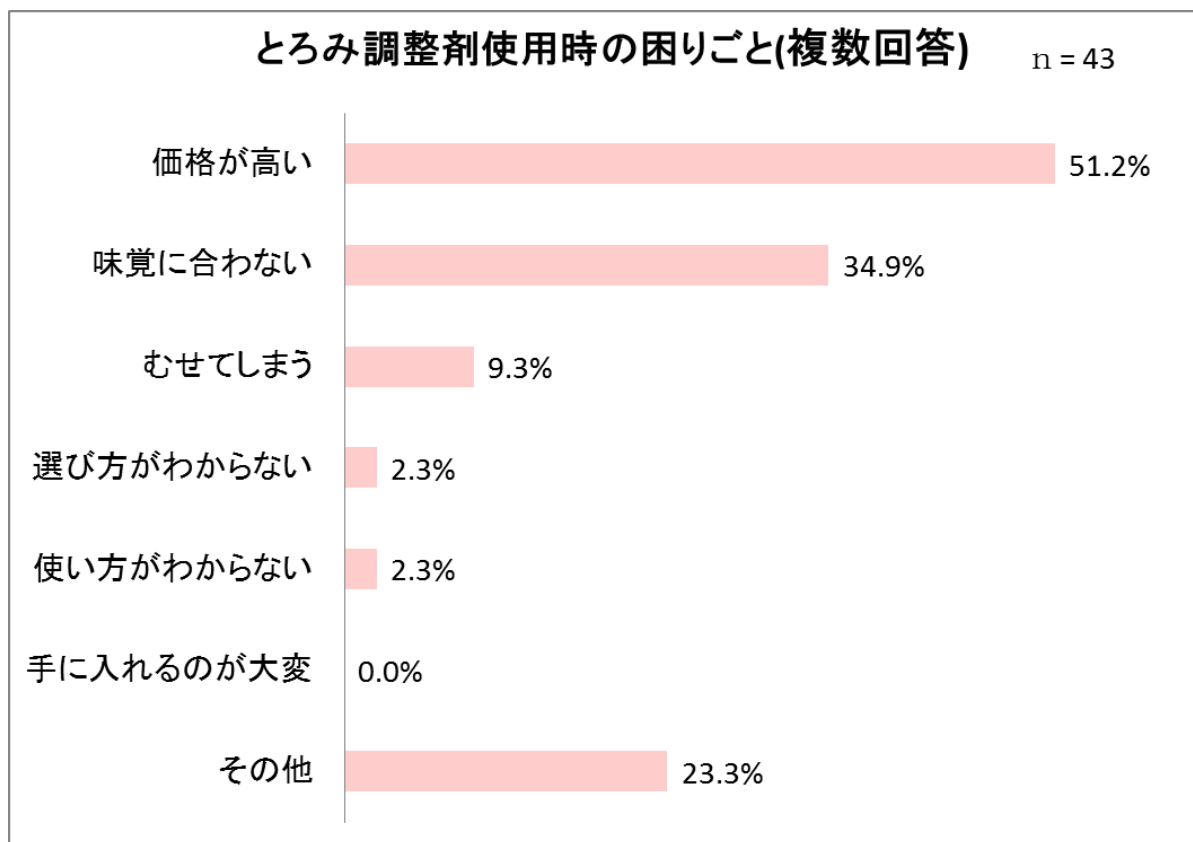
図表 I -1-2-32：とろみ調整剤使用時の困りごとの有無

とろみ調整剤使用時の困りごとの有無	人数	割合
ある	43	41.0%
ない	58	55.2%
無回答	4	3.8%
回答人数	105	



図表 I-1-2-33：とろみ調整剤使用時の困りごと(複数回答)

とろみ調整剤使用時の困りごと	人数	割合
価格が高い	22	51.2%
味覚に合わない	15	34.9%
むせてしまう	4	9.3%
選び方がわからない	1	2.3%
使い方がわからない	1	2.3%
手に入れるのが大変	0	0.0%
その他	10	23.3%
のべ人数	53	
回答人数	43	



（６）食事に関する介護の困りごと

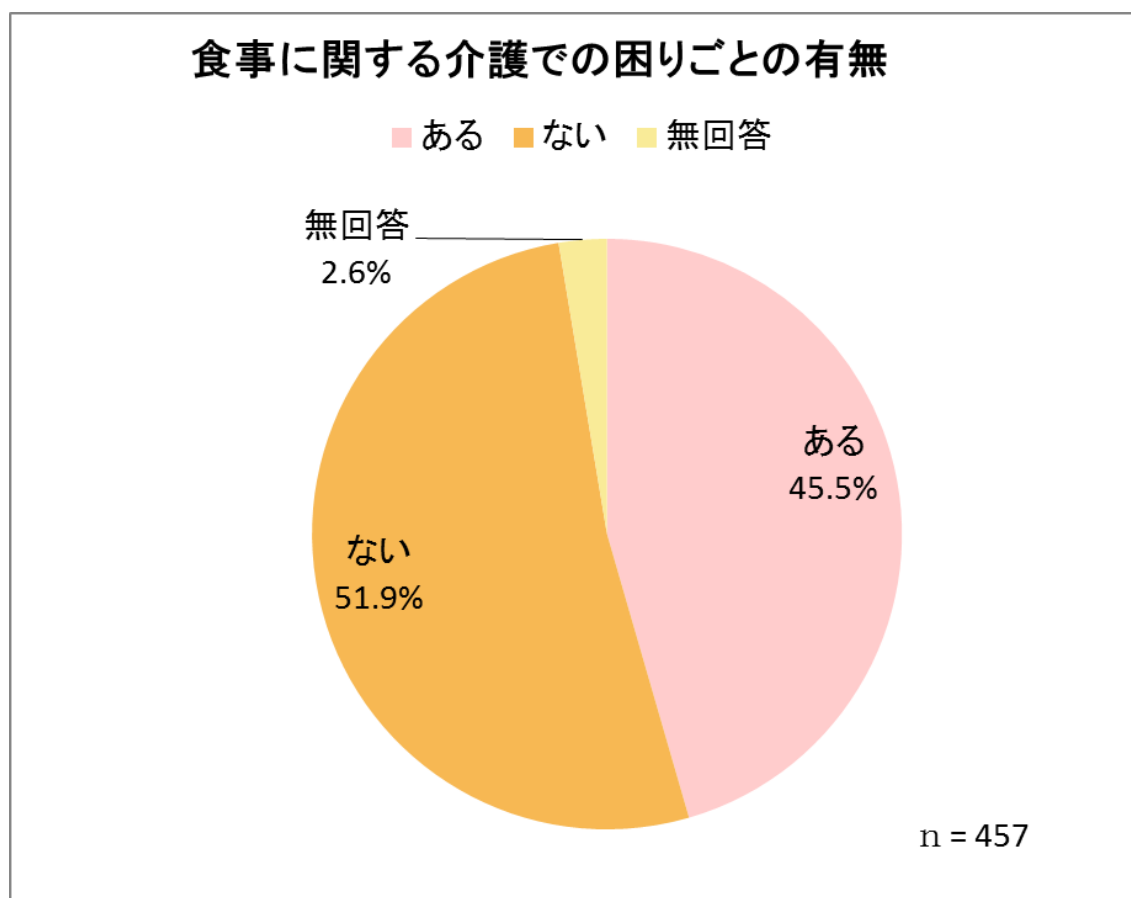
■問 24、あなたは、食事に関する介護で困っていることはありますか。

食事に関する介護で 45.5%が、何らかの困りごとを感じているという結果でした。また、困っている世帯のうち、45.7%は複数の困りごとを抱えているという結果でした。

困りごとの内訳は「栄養が足りているか分からない」が 51.4%で最も多く、次いで「メニュー(献立)を考えるのが大変」が 48.1%、「何を食べさせたら良いかわからない」が 32.7%、「介護食の作り方がわからない」が 8.7%、「食べさせ方がわからない（食べてもらえない）」が 7.2%、という結果でした。

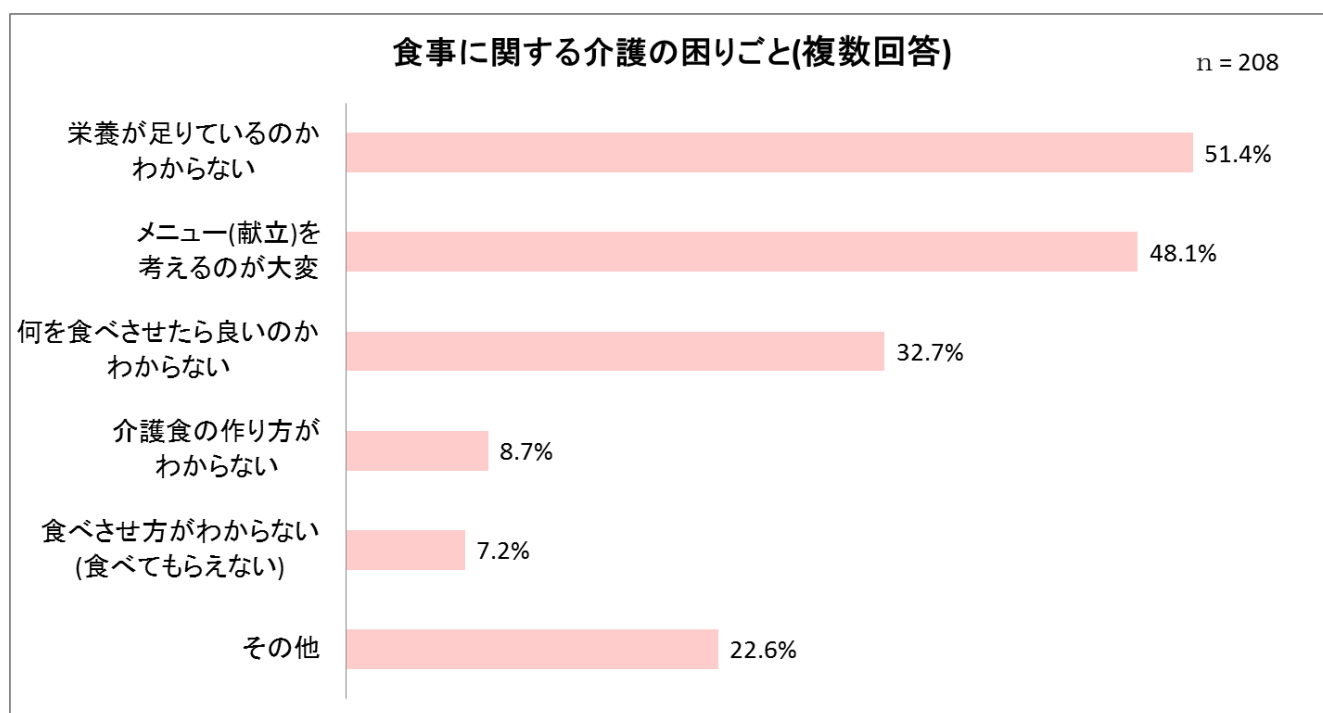
図表 I-1-2-34：食事に関する介護での困りごとの有無

食事に関する介護での困りごとの有無	人数	割合
ある	208	45.5%
ない	237	51.9%
無回答	12	2.6%
回答人数	457	



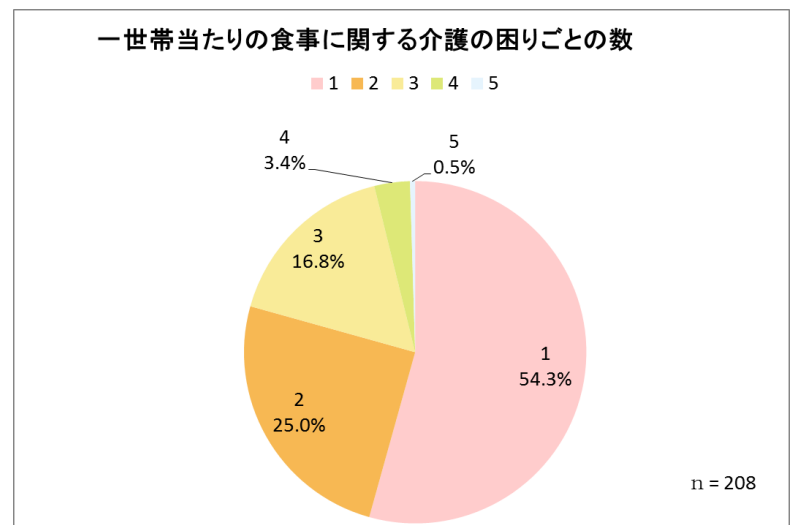
図表 I-1-2-35：食事に関する介護の困りごと(複数回答)

食事に関する介護の困りごと	人数	割合
栄養が足りているのかわからない	107	51.4%
メニュー(献立)を考えるのが大変	100	48.1%
何を食べさせたら良いのかわからない	68	32.7%
介護食の作り方がわからない	18	8.7%
食べさせ方がわからない (食べてもらえない)	15	7.2%
その他	47	22.6%
のべ人数	355	
回答人数	208	



図表 I-1-2-36：一世帯当たりの食事に関する介護の困りごとの数

一世帯当たりの食事に関する 介護の困りごとの数	人数	割合
1	113	54.3%
2	52	25.0%
3	35	16.8%
4	7	3.4%
5	1	0.5%
回答人数	208	



■その他の困りごと（一部抜粋）

食事の偏りに関する内容

- ・好き嫌が多いので何を食べさせたら良いか困る。

食欲不振に関する内容

- ・野菜を食べない、やわらかく煮ても食べない。
- ・食事の量が少ない。

食事制限の問題に関する内容

- ・カロリー計算ができない。
- ・食欲があるため制限をさせるのが難しい。
- ・カロリー計算ができない。しかしカロリー付メニューを渡されたとしても、多分毎日献立に沿った調理はできないと思う。

食事介助の問題に関する内容

- ・作るのが大変。
- ・忙しいとき準備が負担。
- ・時間がかかり過ぎる。

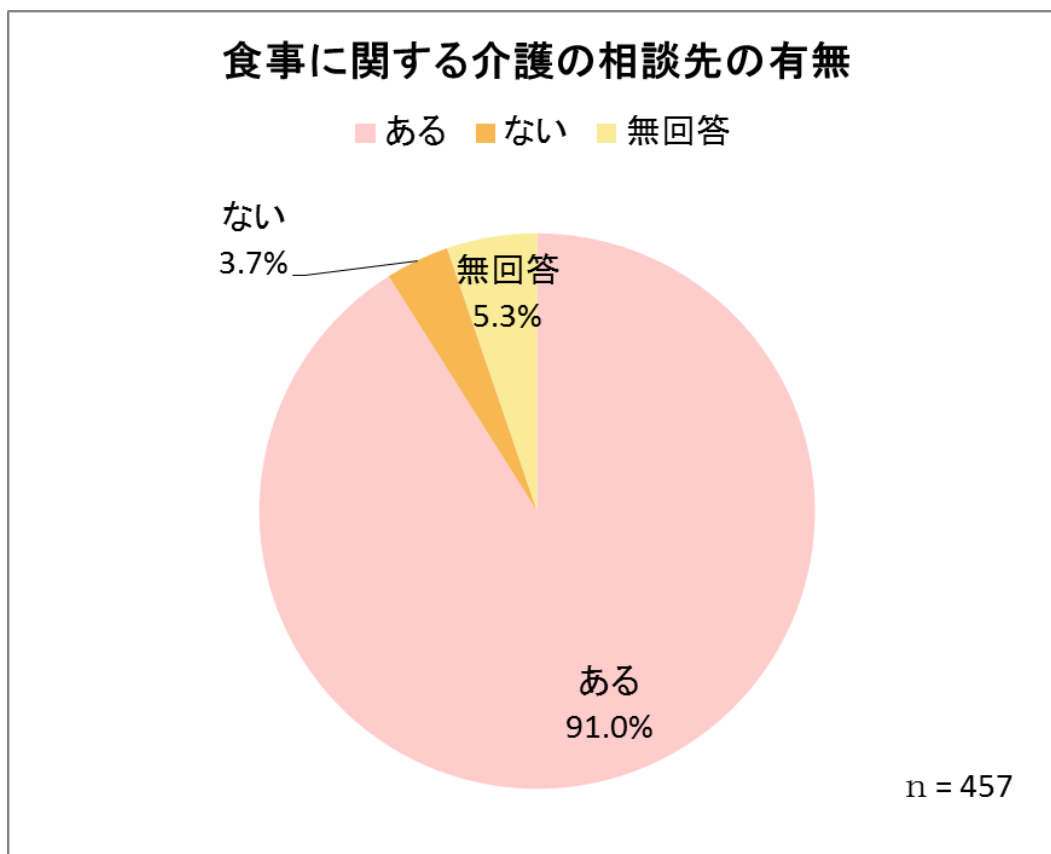
（７）食事に関する介護の相談先

■問 25、あなたは、食事に関する介護で困ったときは、だれに相談していますか。

91.0%の介護者が食事に関する介護で困ったときの相談先が「ある」という結果でした。食事に関する介護の相談先として、「ケアマネジャー」が 53.8%で最も多く、次いで「家族」が 42.8%という結果でした。

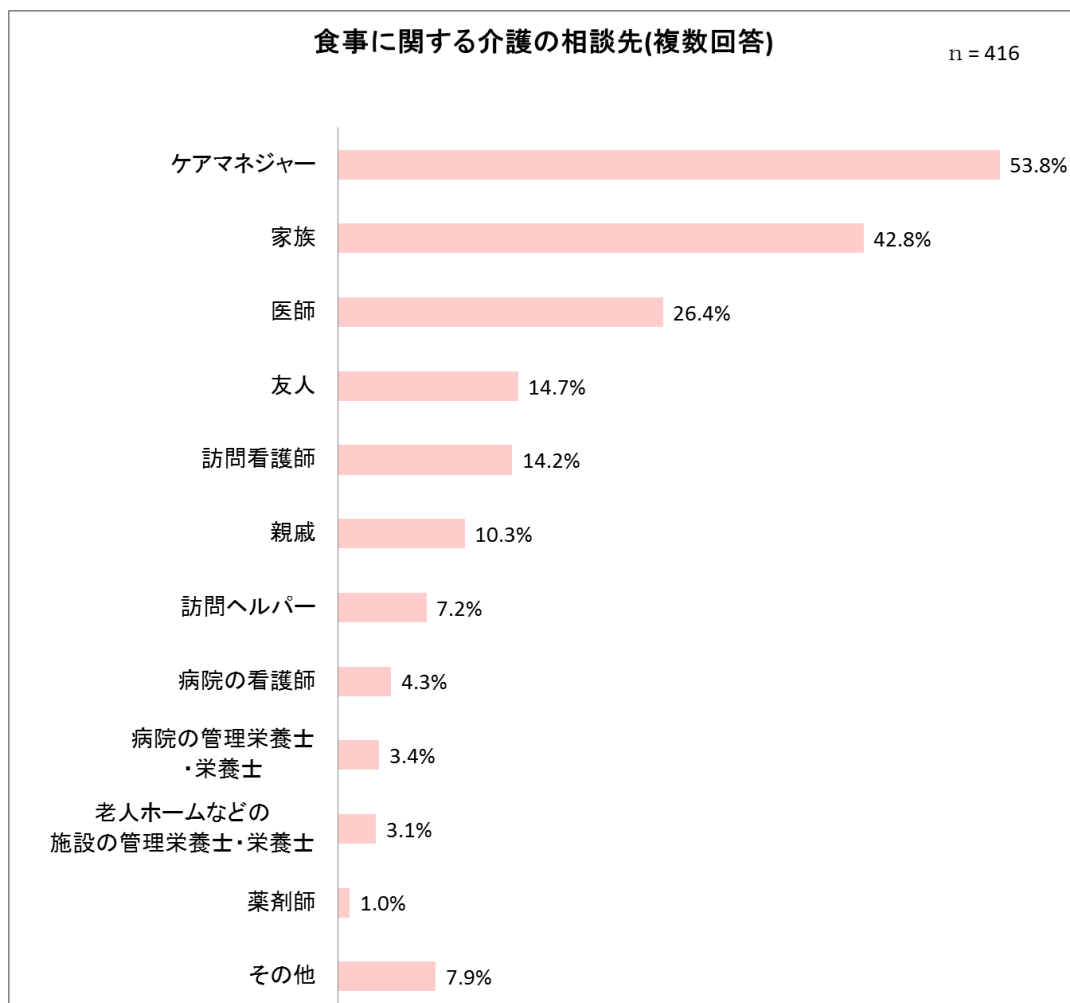
図表 I-1-2-37：食事に関する介護の相談先の有無

食事に関する介護の相談先の有無	人数	割合
ある	416	91.0%
ない	17	3.7%
無回答	24	5.3%
回答人数	457	



図表 I-1-2-38：食事に関する介護の相談先(複数回答)

食事に関する介護の相談先	人数	割合
ケアマネジャー	224	53.8%
家族	178	42.8%
医師	110	26.4%
友人	61	14.7%
訪問看護師	59	14.2%
親戚	43	10.3%
訪問ヘルパー	30	7.2%
病院の看護師	18	4.3%
病院の管理栄養士・栄養士	14	3.4%
老人ホームなどの施設の管理栄養士・栄養士	13	3.1%
薬剤師	4	1.0%
その他	33	7.9%
のべ人数	787	
回答人数	416	

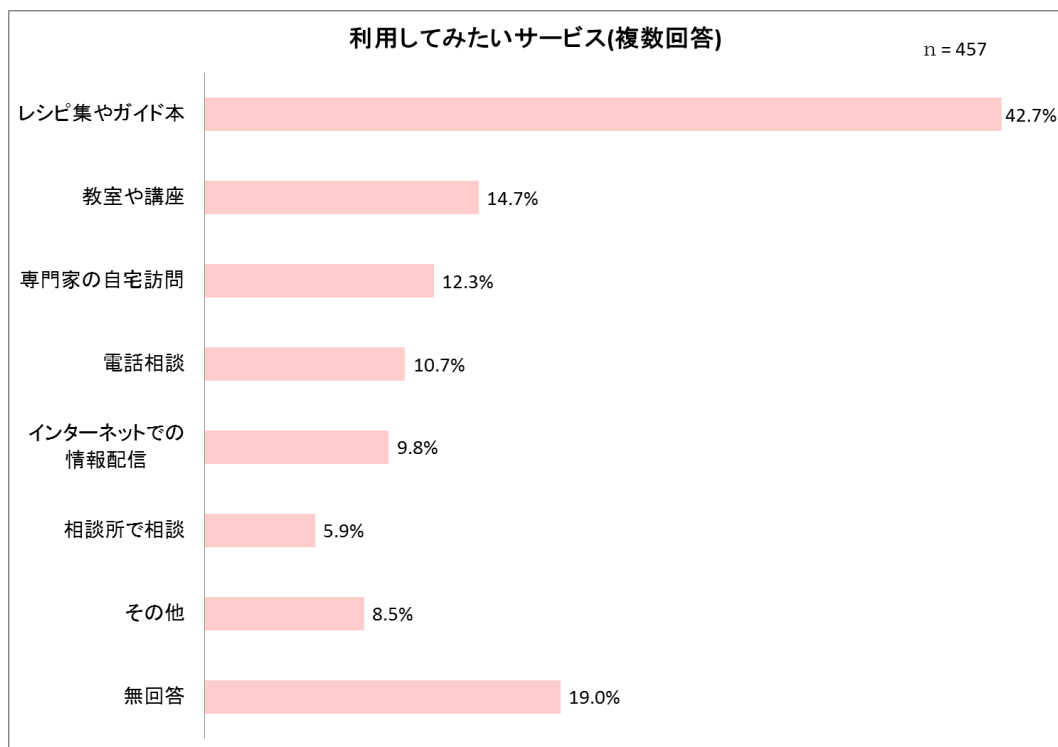


(8) 介護者が望むサービス

■問 26、あなたは今後、食事に関する介護で困ったとき、どんなサービスだったら利用してみたいですか。
介護者が今後望むサービスは、「レシピ集やガイド本」が 42.7%で最も多いという結果でした。

図表 I-1-2-39：利用してみたいサービス（複数回答）

利用してみたいサービス	人数	割合
レシピ集やガイド本	195	42.7%
教室や講座	67	14.7%
専門家の自宅訪問	56	12.3%
電話相談	49	10.7%
インターネットでの情報配信	45	9.8%
相談所で相談	27	5.9%
その他	39	8.5%
無回答	87	19.0%
のべ人数	565	
回答人数	457	

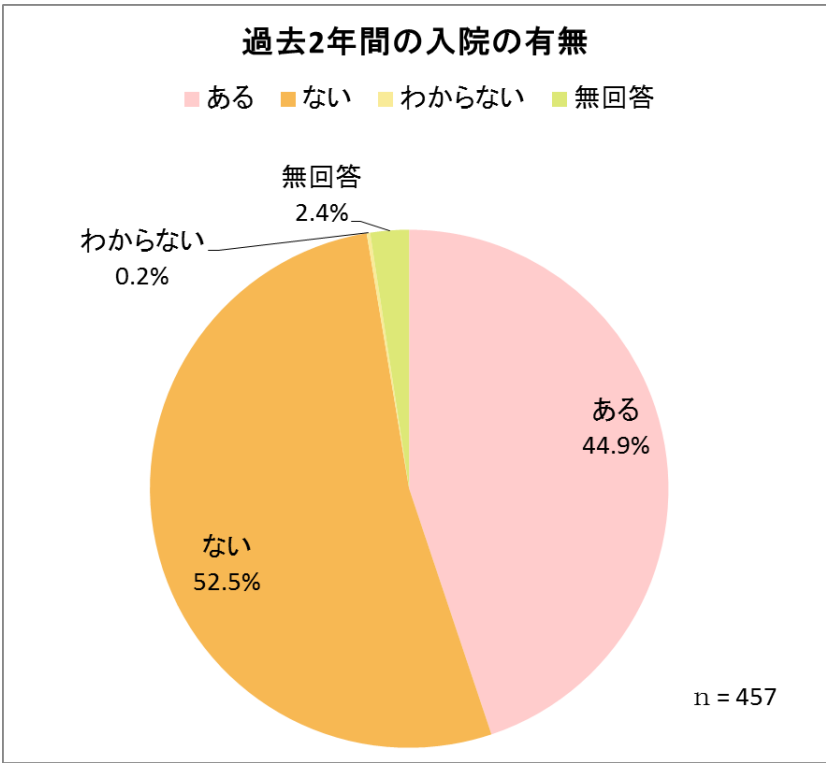


3. 入院について
(1) 入院の有無

■問 27、介護を受けている方は、過去 2 年の間に入院したことがありますか。
過去 2 年間で要介護者に入院経験があった世帯は、44.9%という結果でした。

図表 I -1-2-40：過去 2 年間の入院の有無

過去2年間の入院の有無	人数	割合
ある	205	44.9%
ない	240	52.5%
わからない	1	0.2%
無回答	11	2.4%
回答人数	457	



(2) 退院時の食事に関する指導・説明

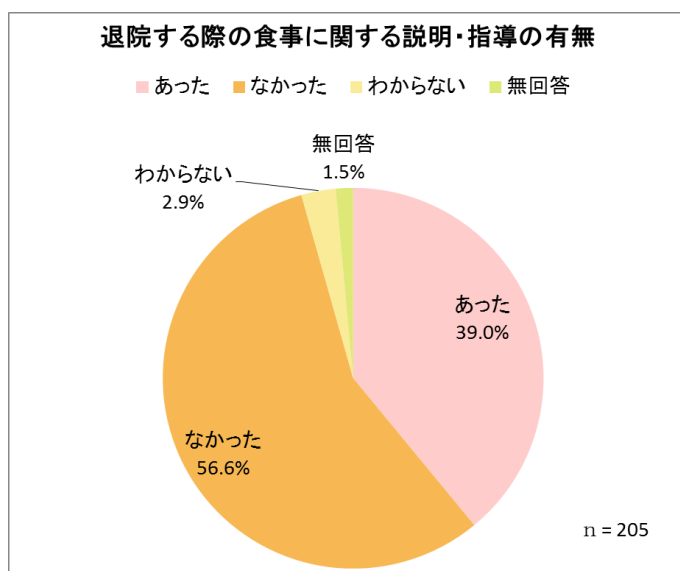
■【問 27 で「1.ある」と回答された方におたずねします。】

問 28、退院する際に、食事に関する説明や指導はありましたか。

退院時病院からの食事に関する説明や指導については、「あった」と回答した方は 39.0%で、56.6%の方が説明や指導を受けずに退院をしていることが分かりました。

図表 I-1-2-41：退院する際の食事に関する説明・指導の有無

退院する際の食事に関する説明・指導の有無	人数	割合
あった	80	39.0%
なかった	116	56.6%
わからない	6	2.9%
無回答	3	1.5%
回答人数	205	



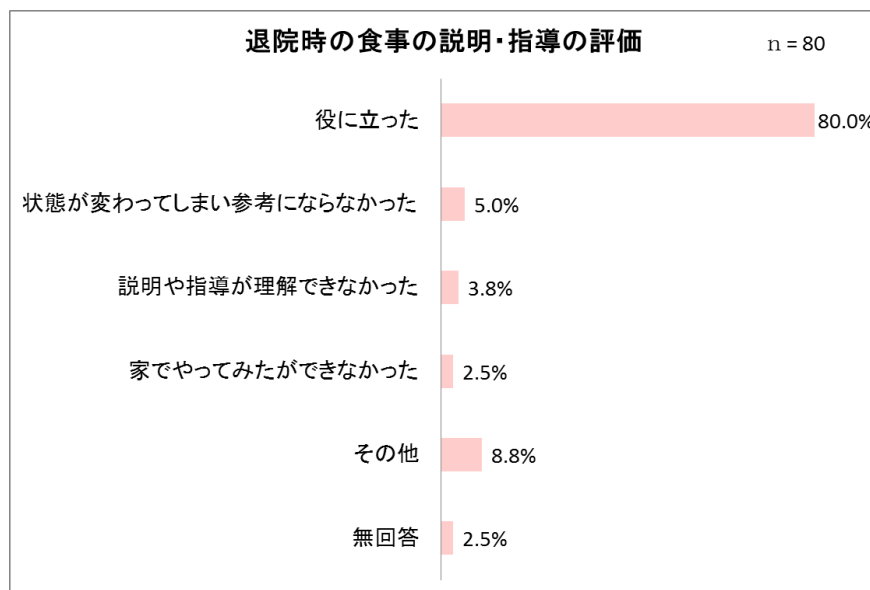
■【問 28 で「1.あった」と回答された方におたずねします。】

問 29、その時の説明や指導は役に立ちましたか。

退院時に食事に関して指導や説明を受けた世帯うち、80.0%が「役に立った」と回答しています。

図表 I-1-2-42：退院時の食事の説明や指導・評価

退院時の食事の説明・指導の評価	人数	割合
役に立った	64	80.0%
状態が変わってしまい参考にならなかった	4	5.0%
説明や指導が理解できなかった	3	3.8%
家でやってみたができなかった	2	2.5%
その他	7	8.8%
無回答	2	2.5%
のべ人数	18	
回答人数	80	



4. その他

(1) 自宅での食の介護に関する意見（一部抜粋）

認知症の場合に関する内容

- ・ 認知症の対応を工夫し、やっているが大変。食事をしたことを忘れることで何回も「食事していない」と言われたり、ケアマネジャーに相談して「食べた食器を残しておく」など工夫はしているが大変です。

慢性疾患による食事制限に関する内容

- ・ 食事制限されている場合の献立が難しい。

摂食・嚥下障害に関する内容

- ・ 現在は特に問題なく、何でも食べてくれますが、だんだんと身体が弱くなってくると固形物が食べられなくなってきました。そんな時、どんなものを食べさせれば良いのか、1日3食の提供ができるか不安が山積みです。
- ・ 二人だけで食事をしているときにむせがひどくなったり、つまったりすると、命に関わるため対応できるか心配。
- ・ 誤嚥性肺炎になってからミキサーやとろみ使用になってしまいました。今の所、少し落ち着き、食欲もあり、食べていますが、認知症の進行と同時に口から摂れなくなったら、かわいそうです。
食べられるうちに、たくさん食べられるように工夫していきたいと思い、進めています。
- ・ 毎回食事の際は不安ばかりです。むせらないだろうかと。試行錯誤の毎日です。
なるべく、自分の作った食事ではと思いますが、これからはレトルト等うまく利用活用してみたいと思っています。

介護者の介護負担に関する内容

- ・ 初めて介護される方はわからないことが多く何を聞いていいかも、とろみ剤等があることも知らずにいると思います。
- ・ 食事の時間がとても長く、それにも関わらず、食が細い。途中で口を開けなくなり、もう食べなくてよいのか聞いても何も言ってくれないということが悩みですね。
- ・ 食に関する介護よりも実の娘(2人)が介護の難しさを分かってくれず悩んでいます。
- ・ これからも栄養のバランスを考え食べやすくおいしい料理を作っていきたいです。でも時々疲れたり、嫌になってしまうときも多々あります。

介護者の工夫に関する内容

- ・ 個々それぞれのケースバイケースだと思いますので、専門家の方のお話を参考にし、主人や家庭に合った方法でやっていきたいと思います。
- ・ だんだん動かなくなっているせいか、便秘がひどく、野菜を多めにしたり、気を遣います。
- ・ ごはんを食べる時あまり、おかずを摂らないので丼にすることが多いです。
- ・ 噛む力(歯と入れ歯がある)があれば、食は楽しいので、ヘルパーと共に調整しています。
- ・ 咳き込むので、先に食べさせてから家族が食べる。全て食べさせている。特に水分は注意して飲ませている。
ゆっくりと。甘い煮魚が好き。汁もごはん混ぜて食べさせる。モロヘイヤをゆでて叩いてトロリとさせて、毎日やっています。

- ・一時食べることができないとき、エンシュアリキットを使うことで、栄養の事はあまり考えなくても食べられるとき、好きなものを食べてもらうことになったらとても楽になった。
- ・介護する人も高齢者、食材の購入・調理が苦痛になってくる時が来る。その時の対策を今考えている。介護する人もされる人も「食事が楽しい」と思える環境作りをしたい。

二人暮らしや老老介護に関する内容

- ・分類にあてはまらないものを食べるが調理できず、慣れずに困っている。
- ・一人暮らしの母なので、夕食はお弁当を頼んでいる。
量より質というのが本人の満足で大事だと思う。今のところ我慢している感じはする。本人の希望通りにはなかないかなと感じている。
- ・一人暮らしの人に週1ぐらいで栄養があるお弁当があればいいです。食事作りが休める日がほしいです。

要望に関する内容

- ・家族と基本同じ食事なのですが、歯がごく少ない数なので、やわらかく栄養価のある食品を求めています。品名・成分とかの表があればと考えております。
- ・自宅で調理したものと市販のでやりくりをしたが、市販品の種類を増やしてほしい。栄養剤をもっとおいしくしてほしい。(口から入れるなら)
- ・介護認定を受けている所へ問26の①(レシピ集やガイド本)を定期的に送ってくれるとうれしいと思います。
- ・本人に関わる事業所の担当者が主治医を囲んでケア・カンファレンスを開いてくれ、その際食に関する情報が与えられ、企画してくれたケアマネジャーに感謝している。役立っている。その折の主治医の勧めで「嚥下障害者への食事」の医療関係者の勉強会に参加させてもらい勉強中。さまざまな勉強会を一般にも知らせてほしい。
- ・特にないがむせ防止はどうしたらよいか教えてください。
- ・心原性脳塞栓症で左半身マヒの車イス生活であるが今の所在宅で生活しているが、いつ再発するか心配で嚥下力がなくなったらどんな食事になるか未知のもので心配である。よって介護食の教室や講座があったらいいな。市町村単位であつたら是非出席したいです。

食事内容に関する内容

- ・魚、肉を食べたがらない。常時塩辛い物(みそ漬け)でごはんを終わらす。
- ・きざみ食にしているのですが本人と意思疎通ができないので食事量が足りているのかどうかわかりません。
- ・現在、食事は毎日3食ほとんど完食していますが、医師からは栄養が足りないと言われます。
- ・何を食べさせたら良いかわかりません。3食とも毎日献立を記録しています。偏りがあるのかもしれませんが。

口腔状態に関する内容

- ・全入れ歯になってしまい、入れ歯に慣れるまで、1年半かかったが、入れ歯にも慣れ食事させるのに、すごく楽になった。栄養も摂れるようになり、食事を楽しむようになった。歯は体を作る元であることを痛感しています。